

拡大教授会

- 報告事項
 - 1. 総務委員会報告
 - 2. 研究科長・学部長・研究所長合同会議等報告（総A1号）（総B1号）
 - 3. 研究費不正使用の注意喚起（研B5号）
 - 4. 各委員会報告（教B2号）（教B3号）（教B5号）（学B1号）
 - 5. 2024年度教員評価について
 - 6. 標的型攻撃メール訓練の実施について（総B2号）
 - 7. 進学選択の結果について（教B4号）
 - 8. その他
 - ・第4回小和田記念講座の開催
- 議題
 - 1. 連携研究機構「不動産イノベーション研究センター」の再設置について（研B3号）
 - 2. 社会連携講座「AI 相利共生未来社会講座」の設置について（研B4号）
 - 3. 2025年度授業日程について（教B1号）
 - 4. 東京大学総合文化研究科自然科学図書室規則の一部を改正する規則（案）について（図B1号）

教授会

- 議題
 - 1. 教授会におけるオンライン投票について
 - 2. 次期研究科長予定者の選挙について（総B3号）

○ 教員人事				
講 師	報 告	2 件	提 案	1 件
准 教 授	報 告	3 件	提 案	2 件
教 授	報 告	2 件	提 案	2 件

計10件

委員会関係

- | | |
|-------|--|
| 教務委員会 | ・2024年度東京大学9月入学者数等(PEAK)について(教B5号)
・2024年度PEAK及落判定について
・2024年度A semester (A1・A2 term) 定期試験の実施について(教B2号)
・2024年度A semester (A1・A2 term) 成績報告について(教B3号) |
|-------|--|

財務委員会

教育研究経費委員会

情報基盤委員会

入試委員会

教養教育評価委員会

- | | |
|-------|------------------------------|
| 学生委員会 | ・駒場祭期間中及び前日の車両入構規制について(学B1号) |
|-------|------------------------------|

三鷹国際学生宿舎
運営委員会

図書委員会

前期運営委員会

後期運営委員会

建設委員会

- | | |
|-------|-----------|
| 環境委員会 | ・環境整備について |
|-------|-----------|

防災委員会

その他

拡大教授会および教授会議事要旨(案)

日 時 2024年9月19日(木) 15:00～17:51
場 所 Zoom会議
出席者 214名

議 題

○ 報告事項

1. 総務委員会報告

研究科長から、9月5日、9月19日開催の総務委員会について説明・報告があった。

2. 研究科長・学部長・研究所長合同会議等報告

研究科長から、7月23日、9月10日開催の研究科長・学部長・研究所長合同会議について、資料(総A1号)(総B2号)に基づき説明・報告があった。

3. 全学環境安全衛生管理室等会議・事故災害報告

環境安全管理室道上達男室長から、資料(総B3号)(総B4号)に基づき報告があった。

4. 各委員会報告

- ・奥野将成教育研究経費委員会委員長から、2024年度教育支援経費配分について、資料(経B1号)に基づき報告があった。
- ・山本芳久後期運営委員会副委員長から、令和6年度教養学部卒業生数(令和6年8月31日付)について、資料(教B1号)に基づき報告があった。
- ・柳澤実穂研究科長補佐から、2024年度防災訓練について説明があった。
- ・新井宗仁社会連携委員会委員長から、2024年度Aセメスター「高校生と大学生のための金曜特別講座」について説明があった。

5. 国際卓越研究大学の申請について

研究科長から報告があった。

6. 令和6年度有形固定資産の実査について

増田建副研究科長から、資料(経B2号)に基づき報告があった。

7. 研究費使用ハンドブック

増田建副研究科長から、資料(研B3号)に基づき報告があった。

8. 令和6年度研究倫理セミナー

増田建副研究科長から、資料(研B4号)に基づき報告があった。

9. バフワーン会長寄付建物におけるタスクフォースの設置について

増田建副研究科長から、6月20日(木)開催の拡大教授会における建物建設の承認が確認された後、タスクフォース設置の報告があった。

10. 研究費不正使用の注意喚起

研究科長から、資料(研B5号)に基づき報告があった。

11. その他

- ・柳澤実穂研究科長補佐から、ホームカミングデイについて説明があった。
- ・研究科長から、10月17日の拡大教授会・教授会について説明があった。
- ・研究科長から、役職者の交代等について、資料(総B5号)に基づき説明があった。

大塚修研究科長補佐から、9月退任の挨拶があった。

地域文化研究専攻金子亜美准教授から、9月1日付着任の挨拶があった。

生命環境科学系長谷部政治講師から、9月1日付着任の挨拶があった。

○ 審議事項

1. 東京大学とデリー大学との全学学術交流協定の更新について

井坂理穂教授から、資料（教B 2号）に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

2. 東京大学大学院人文社会系研究科・大学院総合文化研究科とデリー大学文学部・社会科学部との部局間学生交流覚書の締結について

井坂理穂教授から、資料（教B 3号）に基づき説明がなされ、審議の結果、了承された。

・市野川容孝教授から、元教授の訴訟に係る東京地方裁判所の判決について説明があった。

以下、教授会構成員対象の議題です。

○ 教員人事

講	師	提	案	2件
		報	告	1件
准	授	報	告	3件
教	授	報	告	8件

計 14 件

以上

議題及び資料

01	学内外情勢	総長
	(資料1) 学内外情勢	
02	令和6(2024)年度理事等の分担	総長
	(資料2) 令和6(2024)年度理事等の分担	
03	東京大学スポーツコンパス(案)の制定 * 審議	津田理事
	(資料3) 東京大学スポーツコンパス(案)	
04	ハイパーカミオカンデ(HK)計画の推進に関する海外機関(フランス・原子核素粒子物理研究所(IN2P3))との覚書締結 * 審議	齊藤理事
	(資料4) 東京大学・高エネルギー加速器研究機構(KEK)とフランス・原子核素粒子物理研究所(IN2P3)の間のハイパーカミオカンデ(HK)建設に関する覚書の概要(科所長会議関係者限り)	
05	国際宇宙ガンマ線天文台(CTAO)大口径望遠鏡コラボレーションのための法人設立 * 審議	齊藤理事
	(資料5) 【宇宙線研究所】(CTA事業) 2024年10月設立予定のLSTスペイン法人に関する定款の概要について(科所長会議関係者限り)	
06	ノースイースタン大学(米国)との全学協定締結 * 審議	林理事
	(資料6) 国際交流協定・覚書締結計画書(ノースイースタン大学)	
07	アールト大学(フィンランド)との全学協定終結 * 審議	林理事
	(資料7) 東京大学とアールト大学との全学協定終結	
08	ダラム大学(英国)との全学協定終結 * 審議	林理事
	(資料8) 東京大学とダラム大学との全学協定終結	
09	フランス原子力庁、ニューロスピン(フランス)との全学協定終結 * 審議	林理事
	(資料9) 東京大学とフランス原子力庁、ニューロスピンとの全学協定終結	
10	コレージュ・ド・フランス(フランス)との全学覚書終結 * 審議	林理事
	(資料10) 東京大学とコレージュ・ド・フランスとの全学覚書終結	
11	令和6年度本部防災訓練の実施 * 報告	岸執行役
	(資料11) 令和6年度本部防災訓練の実施について(通知)(案)	
12	安否確認訓練の実施 * 報告	岸執行役
	(資料12) 安否確認訓練の実施について(依頼)	
13	標的型攻撃メール訓練の実施 * 報告	田浦執行役
	(資料13) 標的型攻撃メール訓練の実施に向けたご協力について(依頼)(学内教職員限り)	
14	東京大学情報セキュリティ・ポリシーに関するパブリック・コメントの募集 * 報告	田浦執行役
	(資料14) 東京大学情報セキュリティ・ポリシーに関するパブリック・コメントの募集について(依頼)(学内教職員限り)	

15	令和6年度ストレスチェック制度の実施 * 報告 (資料15) 令和6年度ストレスチェック制度の実施について(学内教職員限り)	齊藤理事
16	令和5年度の部局における研究倫理教育等及び不正防止等に関する取組状況 * 報告 (資料16) 令和5年度部局における研究倫理教育等及び不正防止等に関する取組状況(報告)	藤垣理事
17	東京大学オープンキャンパス2024実施報告 * 報告 (資料17)「東京大学オープンキャンパス 2024」(オンライン)実施報告	津田理事
18	その他 (1) 第23回ホームカミングデイについて (資料18) 第23回東京大学ホームカミングデイ実施案 (2) グローバル・コモンズ・フォーラムの開催 (資料19) Global Commons Forum	津田理事 相原理事

議題及び資料

01	学内外情勢	総長
	(資料1) 学内外情勢	
02	令和6(2024)年度理事等の分担	総長
	(資料2) 令和6(2024)年度理事等の分担	
03	障害者の雇用状況(2024年6月1日現在)	林理事
	* 報告 (資料3) 3-1:障害者の雇用状況について(2024年6月1日現在)、3-2:部局別障害者の雇用状況について(2024年6月1日現在)(科所長限り)	
04	2024年度ジェンダー・エクイティ研修の受講率(途中経過)	林理事
	* 報告 (資料4) 4-1:2024年度ジェンダー・エクイティ研修の受講状況について(経過報告)、4-2:部局別受講割合(10月7日17時現在)	
05	コンプライアンス・リーガルマネジメント教育の実施報告	角田理事
	* 報告 (資料5) 本学の全教職員等を対象とするコンプライアンス・リーガルマネジメント教育の実施について(依頼)(学内教職員限り)	
06	全学ハラスメント防止研修2024の開催	浅見執行役
	* 報告 (資料6) 6-1:全学ハラスメント防止研修2024について(依頼)、6-2:全学ハラスメント防止研修2024	
07	令和6(2024)年度「東大の研究室をのぞいてみよう!～多様な学生を東大に～」プログラムの実施	津田理事
	* 報告 (資料7) 「東大の研究室をのぞいてみよう!～多様な学生を東大に～」プログラムの実施	
08	2024年度後期東京大学ニューヨークオフィス(UTokyoNY)イベント選定結果報告	津田理事
	* 報告 (資料8) 2024年度・後期東京大学ニューヨークオフィス(UTokyoNY)イベント選定結果について	
09	東京大学事業化推進助成制度(東京大学GAPファンドプログラム)第16期公募	染谷執行役
	* 報告 (資料9) 東京大学GAPファンドプログラム公募要領	
10	東京カレッジに招へいする海外研究者等の推薦	相原理事
	* 報告 (資料10) 東京カレッジに招へいする海外研究者等の推薦について(依頼)	
11	その他	
	(1)2025年度東京大学学術成果刊行助成(東京大学而立賞)の募集	玄田副学長
	(資料11)2025年度東京大学学術成果刊行助成(東京大学而立賞)の募集について(通知)	

研究費の不正使用の注意喚起

過去に不正認定された事例に学び、不正使用とならないように注意しましょう。

<物品の目的外利用編>

兵庫県立大学で発生した事例

- ✖ 教員は、自身の研究用に使用することを理由にパソコンを購入したが、貸し出しに関する必要な手続きを取ることなく、人物Aに購入間もないうちに引き渡した。さらに、スマートフォン2台を購入し、2台のうち1台については、購入目的とは異なり、貸し出しに関する必要な手続きを取ることなく、人物Aに購入後間もないうちに引き渡した。

【補足】

自己の経済的な利益を得る目的で引き渡したという客観的な事実が確認できなかったものの、目的外に不正に使用したものと判断されました。

北九州市立大学で発生した事例

- ✖ 教員は、研究用の物品について、正規の手続きにより発注・納品後、研究活動とは関係のない学外者に長期間貸与した。当該者が物品を所持していることを日頃から確認し、備品監査の際は、当該者から一時返却させることなどにより内部監査を欺いていた。

駒澤大学で発生した事例

- ✖ 立替払いの方法をとった物品費において、教員が大学に申請した使用用途と同申請の際に同人が添付した領収書の対象となっている物品に齟齬が生じた。領収書の対象となっている物品は、教員が第三者のために購入した物品であり、研究に使用しない物品であった。

【補足】

教員は領収書の取り違いが原因等と弁明したようですが、重大な過失があったと認定されました。今回の不正金額は、3,960円です。不正かどうかの判定に金額の多寡は関係なく、少額であれば免責されるということはありません。

京都大学で発生した事例

- ✖ 教員が購入した2点の物品の内、1点は当該研究目的とは違う用途で使用されており、もう1点は全く使用されることなく保管されていた。

文科省 HP に記載されている過去の研究機関における不正使用事案

https://www.mext.go.jp/a_menu/kansa/houkoku/1364929.htm

2024年度東京大学9月入学者数等(PEAK)

2024年10月10日 現在
教務課国際化推進T

入学者数等		
科類	合格者数 (条件付合格者を含む)	入学者数 (全員、進学選択対象外)
文科三類(PEAK)	31(33)	18(19)
理科二類(PEAK)	31(32)	14(12)
計	62(65)	32(31)

注)()内は昨年度人数

奨学金受給者内訳									
奨学金名	国費 優先配置	東大 スカラーシップ	STEM菊池*	Subaru*	ローソン*	日本調剤*	学習奨励費 (R6.10-R7.3)	JAGAM (Japan Graduates Association of Malaysia)	合計
文科三類(PEAK)	2(1)	5(6)					3(5)	0(1)	10(13)
理科二類(PEAK)	2(1)	2(3)					3(1)	0(0)	7(5)
計	4(2)	7(9)					6(6)	0(1)	17(18)

注1)()内は昨年度人数

注2)*は、今年度設定がないもの。

国籍内訳				
国籍	合格者数		入学者数	
日本	12	(17) ※1	8	(12)
中国	21	(17)	10	(6)
韓国	7	(10)	5	(7)
インド	0	(3)	0	(1)
マレーシア	0	(3)	0	(2)
台湾	2	(2)	0	(1)
イギリス	5	(3) ※2	2	0
ニュージーランド	0	(1)	0	0
フィリピン	1	(3)	1	0
アメリカ	6	(2) ※3	2	(1)
インドネシア	2	(1)	1	0
ドイツ	1	(1) ※4	1	0
ポーランド	0	(1)	0	(1)
ロシア	0	(1)	0	0
トルコ	1	0	0	0
スウェーデン	1	0 ※5	1	0
ベトナム	1	0	0	0
パキスタン	1	0	0	0
バングラディッシュ	1	0	1	0
その他	0	0	0	0
計	62	(65)	32	(31)

注1)()内は昨年度人数

注2)合格者数:願書の国籍欄の第一番目に記載された国籍でカウント。

注3)入学者数:日本の滞在資格に基づく国籍でカウント。(日本国籍を持つ学生は、日本。留学生は、ビザの取得根拠となっている国籍。)

- ※2024合格者についての留意事項
- ※1 日本とアイルランドの二重国籍者1人、日本とアメリカの二重国籍者2人を含む。
- ※2 イギリスとスロベニアの二重国籍者1人、イギリスと台湾の二重国籍者1人を含む。
- ※3 アメリカとカナダの二重国籍者1人、アメリカと日本の二重国籍者3人、アメリカと台湾の二重国籍者1人を含む。
- ※4 ドイツとイタリアの二重国籍者1人を含む。
- ※5 スウェーデンと韓国の二重国籍者1人を含む。
- ※多重国籍者については、出願情報の国籍記入欄の最初の欄に記入した国籍で、当該欄の内数として整理した。

2024 年 11 月

教 員 各 位

東 京 大 学 教 養 学 部

Aセメスター（A1 ターム・A2 ターム） 定期試験の実施について

2024 年度 Aセメスター定期試験を下記により実施します。定期試験を実施される先生方は下記を必ずご一読のうえ、試験の実施方法等や問題提出のスケジュールをご確認いただき、定期試験の準備を開始いただくようお願いいたします。

記

（１）繰り上げ試験（平常授業時間割によって実施する試験）の場合

以下の科目は、原則、最終授業日までの平常授業時間に実施願います。

- ・基礎科目 「英語二列」、「日本語」
- ・総合科目 L 系列「外国語初級・中級・上級」、「古典語初級・中級」
- ・主題科目

実施の際は、別紙「繰り上げ試験の実施について」に記載されている事項についてご留意ください。
試験監督は授業担当教員（非常勤教員を含む）にお願いしております。

（２）本試験（試験時間割によって実施する試験）の場合

<試験期間>

Aセメスター開講科目：1月23日（木）～2月3日（月）※土日除く。2月8日（土）は予備日

A1 ターム開講科目：11月27日（水） ※11月30日（土）は予備日

A2 ターム開講科目：1月30日（木）～2月3日（月）※土日除く。2月8日（土）は予備日

<実施形態>

対面試験を実施します。

<本試験実施にあたっての事前準備>

- 試験時間、問題印刷の有無、解答用紙の種類、持ち込みの可否（教科書、物品等）についてを、UTAS の「成績・定期試験」→「定期試験（前期課程）」→「試験実施内容調査」からご回答ください。入力内容は学生が UTAS 上で確認できるようになります。詳細は別紙「試験実施内容調査入力マニュアル」を参照ください。
- 試験時間割は別紙をご覧ください。
- 本試験の試験監督の割当については、後日、試験監督日程調査にてご都合をお伺いします。

○ 試験実施内容調査回答期限及び試験問題提出期限

A1 ターム開講科目：11月11日（月）正午

Aセメスター/A2 ターム開講科目：11月6日（月）正午

10

※試験監督への留意事項等がある場合には、上記期限までにご提出ください。

○ 試験問題の印刷については（４）をご参照ください。

【問題提出用フォーム】

<https://forms.office.com/r/xRLSkbzsy1>

※フォームの回答には「10桁 ID@utac.u-tokyo.ac.jp」と「パスワード（UTokyo Account と同じ）」によるサインインが必要です。

※ファイル名を「授業科目名_担当教員名」としてください。

※PDF形式でのアップロードにご協力願います。

（３）定期試験（本試験）の実施時間について

定期試験（本試験）時間は下記のとおりです。

試験の開始時刻は、90分授業の開始時間から10分繰り下げた時刻となりますので、ご注意ください。
　　よくお願いいたします。

時限	定期試験（本試験）時間 ※試験時間 90 分の場合	（参考）授業時間 ※90 分のコアタイム	（参考）授業時間 ※従来の 105 分授業
1 時限	8 時 40 分～10 時 10 分	8 時 30 分～10 時 00 分	8 時 30 分 ～ 10 時 15 分
2 時限	10 時 35 分～12 時 05 分	10 時 25 分～11 時 55 分	10 時 25 分 ～ 12 時 10 分
3 時限	13 時 25 分～14 時 55 分	13 時 15 分～14 時 45 分	13 時 00 分 ～ 14 時 45 分
4 時限	15 時 20 分～16 時 50 分	15 時 10 分～16 時 40 分	14 時 55 分 ～ 16 時 40 分
5 時限	17 時 15 分～18 時 45 分	17 時 05 分～18 時 35 分	16 時 50 分 ～ 18 時 35 分

（４）試験問題の印刷について

教務課に印刷を依頼する場合

UTAS「成績・定期試験」→「定期試験（前期課程）」→「試験実施内容調査」（回答必須）に必要事項を入力の上、試験問題提出期限（A1 ターム開講科目：11月11日（月）正午、Aセメスター/A2ターム開講科目：1月 6日（月）正午）までに、原稿を教務課前期課程チームに提出してください。

※試験問題用印刷機の機能の都合上、ホチキス留め・クリップ留め・カラー印刷はできません。

※試験問題には、次ページ「試験問題に記載する事項」を明記願います。

教務課での印刷が不要な場合・問題提出期限に遅れた場合

試験日の3営業日前（土日祝を含まない）までに教員自ら

履修者数分＋予備分（1部は必ず用意してください。5部×試験教室数＋1部（教務課保管分）以上を推奨。）の試験問題をコピーして、印刷済の試験問題を教務課前期課程チームに提出してください。

教員が試験問題を直接試験会場に持参することは認められません。

※予備分が教務課推奨枚数よりも少ない場合でも、教務課で追加印刷はいたしません。

※試験問題には、下記「試験問題に記載する事項」を明記願います。

※履修者数は、UTAS「履修」→「履修者名簿出力」から確認できます。

※授業期間中（補講日を含む）はアドミニストレーション棟の非常勤講師控室でコピーが可能です。

授業期間外は控室が閉室しておりますので、お手数ですがご自身でコピーをお願いします。

以 上

試験問題に記載する事項 **※試験問題には必ず以下の事項を記載してください**

- ① 科目名 ② 教員名
- ③ 試験実施月日・時限・試験時間（試験時間は、原則として60分～90分で実施頂いております。）
- ④ クラス指定科目の場合は指定クラス
- ⑤ 学生に配付する解答用紙・計算用紙の枚数

「1枚」の場合：B4版両面1枚

「2枚」の場合：A4版両面2枚（冊子）

「3枚」の場合：A4版両面3枚（冊子）

「4枚」以上の場合：上記の「2枚」、「3枚」を組み合わせる。

解答用紙の追加配付は認められませんので、解答用紙の不足が見込まれる場合には、あらかじめ多めに枚数を指定してください。

- ⑥ 持込みを認める場合は別紙「試験時における持込についての申し合わせ」を参照してください。

（記入例）

科目名 ●●●●●●	教員名 ●● ●●	●月●日●時限 試験時間●分	
指定クラス ●科●類●組	解答用紙 ●枚	計算用紙 ●枚	持込み 有・無

記入例のテンプレート：（以下をご利用ください）

<https://zenkyomu.c.u-tokyo.ac.jp/shiken/examinfo-template.docx>

試験実施内容調査入力マニュアル

UTAS

<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>

- ① 上記のURLからログイン画面に進み、ID・パスワードを入力しUTASにログインしてください。
- ② 画面上部のメニューから「成績・定期試験」の項目をクリックし、「定期試験（前期課程）」のプルダウンメニューから「試験実施内容調査」をクリックしてください。
- ③ 入力したい科目の科目名横にある「入力」をクリックし、「試験問題の印刷」、「解答用紙・計算用紙の枚数」、「持ち込み可否」、「試験時間」などの項目を入力してください。
- ④ ③の項目の入力が終わり、入力内容に変更のない場合は「確定画面へ」のボタンをクリックし、登録してください。
内容が未確定の場合は、「一時保存」のボタンをクリックすると入力状態が保存されます。（締切日を過ぎても「一時保存」として登録されているものは締切日翌日に「確定」したものとして処理されます。）

※繰り上げ試験の場合は試験実施内容調査への回答は不要です。

試験時における持込についての申し合わせ

2004.11.18 教務委員会了承

○試験時における持込について次のとおり取り扱うこととする。

- ・持込は、全て不可、もしくは、全て可、を原則とする。
- ・全て持込可（特例としての一部可を含む）の場合、科目担当教員が試験監督を行うこととする。なお、病気等やむを得ない事情がある場合には、代理監督を立て、事前に持込可否について十分な周知を行うこととする。また、代理監督を立てた場合は、代理監督及び応援監督に監督を一任する。
- ・特例としての一部持込可の場合、試験時に持込を認める物品が何か、授業の際に学生に対し十分な周知を行うこと。
- ・持込を認める物品については、試験開始前に全て机に出させ、試験時間中の出し入れは認めない。

経緯説明

試験時における持込について、当該科目の担当教員が監督を行えず、応援監督が試験を実施する際、持込を認める物品として担当教員から申し出された、手書きノート、講義で配布したプリント、書き込みの無い六法等など、持込を認められた物品であるかどうかの確認が試験時間中に行えないなどの問題がある。また、履修者が多い科目等、複数教室で同時に試験実施した際、教室間で、監督者の判断に食い違いが生じる恐れもあり、公平性を期するため、持込に関する取り扱いを定めたものである。

教員各位

東京大学教養学部教務課前期課程

繰り上げ試験の実施について

繰り上げ試験を実施する際には、以下の事項を遵守していただきますよう、お願いいたします。

- ・試験情報の板書

試験を開始する前に、科目名、試験時間、持ち込み許可の有無（「有」の場合、許可物の詳細）、注意事項等を板書し、学生に周知してください。

- ・出欠状況と答案等部数の確認

試験の出欠状況を、履修者名簿等を用いて確認してください。また、回収した答案等に関しましては、部数が受験者数と一致していること、また氏名等が記載されていることをご確認ください。

- ・学生が多い場合の教室確保

原則として、本試験と同じ座席配置（受験者の両隣が空席になるように配置）で実施してください。試験を実施するにあたり、普段より大きめの教室をご希望の場合は、あらかじめ教務課前期課程までご相談ください。

- ・TA が試験実施補助を行う場合の留意点

TA が試験実施補助を行う場合には、教員も必ず監督を行い、TA のみで試験を監督することがないようにご注意ください。試験時間中の質問対応は、担当教員が行ってください。

- ・試験実施において、不明な点があれば、教務課までお問い合わせください。

To Course Instructors

College of Arts and Sciences
The University of TokyoGuidelines for the Regular Examinations (A Semester (A1/A2 Term))

The following are the guidelines for Regular Examinations for A Semester (A1/A2 Term)2024. Please read through the guidelines and check the exam forms, submission schedule and prepare for the Regular Examination if you will be implementing Last-Class Exam (*Kuriageshiken*) or Exam-period Exam (*Honshiken*).

(1) Last-Class Exams (*Kuriage-shiken*) : held during the regular class

Examinations for the following courses should be implemented during the regular class, by the end of term/semester:

(April-entry student's courses)

English 2, Japanese in Foundation Courses/Languages (Introductory/ Intermediate/ Advanced) , Classical Languages (Introductory/ Intermediate) in Group L, Integrated Courses / Thematic Courses

(PEAK Courses)

Foreign Languages (English/Japanese) in Foundation Courses/ Languages (Introductory/ Intermediate/ Advanced), Applied Japanese in Group L, Integrated Courses/ Thematic Courses

Please follow the “Instructions to Implement Last-Class Exams” (Attachment) for implementation.

Course instructors (including part-time instructors) are requested to invigilate the exams for their own courses.

(2) Exam-Period Exams (*Hon-shiken*) : held during the specified exam period

< Exam Period >

A Semester courses : January 23 (Thu) ~ February 3 (Mon)

*Except for Saturday and Sunday. Extra day: February 8 (Sat)

A1 Term courses : November 27 (Wed) *Extra day: November 30 (Sat.)

A2 Term courses : January 30 (Thu) ~ February 3 (Mon)

*Except for Saturday and Sunday. Extra day: February 8 (Sat.)

< Exam delivery modalities >

In-person examinations will be conducted.

< Preparation for Exam-Period Exams (*Hon-shiken*)>

*Please be sure to register the information of exams (duration, number of answer sheets needed, items permitted to bring in to exam etc.) through UTAS (Log in→"Grade"→"Exam-Period Exam"→"Register information of exams"). The input information will be available for students to view on UTAS. Please refer to the attached file 'Manual for Register Information of Exams'

*Refer to the attached sheet for the exam schedule for each course.

*A notice of the assignment of invigilators for exam-period exams will be sent out by e-mail at a later date.

***Deadline for registering the information of exams and submitting exam papers:**

A1 Term courses: Noon, November 11 (Mon)

A Semester & A2 Term courses: Noon, January 6 (Mon)

*If you have any handouts related to instructions for invigilators, please also submit the original copy to Academic Affairs Division office (PEAK courses: to PEAK/GPEAK Section, other courses: to Junior Division Section) by the deadline above.

*Refer to (4) for making copies of exam papers.

【URL for submitting exam paper data】

For April-entry students courses, submit the file to the following URL:

<https://forms.office.com/r/xRLSkbzsy1>

For PEAK courses, submit the file to the following URL:

<https://forms.office.com/r/WPkyqwyMDy>

Note that you need to sign in with your UTokyo account (10 digit ID number@utac.u-tokyo.ac.jp) and the password. Please name your file 'Course Title_Instructor's Name'

(e.g.Biology_TODAITaro.pdf) and upload the file of the exam papers in PDF format.

(3) Regular Exam (Exam-Period Exam) Time

The Regular Exam (Exam-period Exam) time schedule is as shown in the table below.

Note that the start time of each exam is 10 minutes later than the start time of 90-minute classes.

Period	Regular Exam (Exam-period Exam) Time *In the case, exam duration is 90 minutes	(Reference) Class Hours *90minutes	(Reference)Class Hours *105minutes
Period 1	8 : 40 a.m. ~ 10 : 10 a.m.	8 : 30 a.m. ~ 10 : 00a.m.	8 : 30 a.m. ~ 10 : 15 a.m.
Period 2	10 : 35 a.m. ~ 12 : 05 p.m.	10 : 25 a.m. ~ 11 : 55 p.m.	10 : 25 a.m. ~ 12 : 10 p.m.
Period 3	1 : 25p.m. ~ 2 : 55 p.m.	1 : 15 p.m. ~ 2 : 45 p.m.	1 : 00 p.m. ~ 2 : 45 p.m.
Period 4	3 : 20 p.m. ~ 4 : 50 p.m.	3 : 10 p.m. ~ 4 : 40 p.m.	2 : 55 p.m. ~ 4 : 40 p.m.
Period 5	5 : 15 p.m. ~ 6 : 45 p.m.	5 : 05 p.m. ~ 6 : 35 p.m.	4 : 50 p.m. ~ 6 : 35 p.m.

(4) Making Copies of Exam Papers

Requesting Academic Affairs Division to make copies

Provide the necessary information by filling out and registering the information of exams through UTAS (“Grade” → ” Exam-Period Exam” →” Register information of exams”) and submit the original copy of the exam papers to Academic Affairs Division (PEAK courses: to PEAK/GPEAK Section, other courses: to Junior Division Section) by the designated deadline.

***Deadline for submission:**

A1 Term courses: Noon, November 11 (Mon)

A Semester & A2 Term courses: Noon, January 6 (Mon)

*Please note that the printing equipment used does not allow for stapling, and color copies.

*On the exam paper, please provide the “Exam Information” specified on the following page.

Not requesting Academic Affairs Division to make copies or Did not meet the submission deadline

Please make copies of the exam papers by yourself (the number of examinees + extra copies (◆ 1)) and submit them to the Academic Affairs Division **at least three days prior to the exam date (excluding Saturdays, Sundays and national holidays)**. You are not allowed to bring the exam papers directly to the exam room.

◆ 1 at least 1 extra copy is required. (5 extra copies * Number of exam rooms) + 1 extra copy (for Academic Affairs Division archive) are recommended.)

*Academic Affairs Division will not print any extra sheets.

*Please provide the “Exam Information” on the exam paper, as specified in the following page.

*Refer to UTAS “Course” → “Class List” for the number of examinees.

*Copying equipment is available in the Part-Time Instructors’ Room (*Hijokin-Koshi-Hikaeshitsu*) on the third floor of Administration Building during the regular class period (including supplementary class periods).

Besides the regular class period, the Part-Time Instructors’ Room will be closed. Please make copies somewhere else.

Exam Information

***Please be sure to provide the following information on the exam paper**

1. Course title
2. Course instructor
3. Exam date/ period/ duration(In principle, for 60-90 minutes)
4. Designated stream/ class, if any
5. The number of answer sheets and calculation sheets per student
 - 1 sheet : 1 B4 sheet, printed on both sides (Japanese/ English version)
 - 2 sheets: 2 A4 sheets, printed on both sides (leaflet type) (Japanese/ English version)
 - 3 sheets: 3 A4 sheets, printed on both sides (leaflet type) (Japanese/ English version)
 - 4 or more: combination of the “2 sheets” and “3 sheets” above
6. Items permitted to be brought in to the exam

Be sure to refer to the attached “Faculty Agreement on items permitted in exams” if you permit any items to be brought in to the exam.

(Sample)

Course title XXXXXX		Course instructor XXXX XXXX		Date <u>XX XX</u> Period <u>X</u> Duration <u>XX</u> min.
Stream/ Class No. NS / HS I / II / II No. XX	# of answer sheets X	# of calculation sheets X	Items permitted in exams Y / N	

The sample template is available on the following web page:

<https://zenkyomu.c.u-tokyo.ac.jp/shiken/examinfo-template.docx>

2024年度Aセメスター(A1ターム・A2ターム) 定期試験(本試験)時間割

Exam-period Exam Timetable for A Semester (A1/A2 Term) 2024

			1限 (8:40~) Period 1 (8:40AM~)	2限 (10:35~) Period 2 (10:35AM~)	3限 (13:25~) Period 3 (1:25PM~)	4限 (15:20~) Period 4 (3:20PM~)	5限 (17:15~) Period 5 (5:15PM~)
A1 Term	A1ターム	11月27日(水) Nov.27(Wed)	10月中旬頃に決定(11月30日(土)は予備日)				

A Semester / A2 Term	Aセメスター / A2ターム	1月23日(木) Jan.23(Thu) [A2ターム木曜最終授業日]	Aセメスター展開科目・総合科目 (原則として授業と同一曜限) A Semester Intermediate Courses, Integrated Courses (In principle, examinations are held on the same day and period as the regular class)(Exams for PEAK's Foundation Courses are also held)				
		1月24日(金) Jan.24(Fri) [A2ターム金曜最終授業日]	Aセメスター展開科目・総合科目 (原則として授業と同一曜限) A Semester Intermediate Courses, Integrated Courses (In principle, examinations are held on the same day and period as the regular class)(Exams for PEAK's Foundation Courses are also held)				
		1月27日(月) Jan.27(Mon) [A2ターム月曜最終授業日]	Aセメスター社会科学・人文科学・展開科目・総合科目 (原則として授業と同一曜限) A Semester Social Sciences, Humanities, Intermediate Courses, Integrated Courses (In principle, examinations are held on the same day and period as the regular class)(Exams for PEAK's Foundation Courses are also held)				
		1月28日(火) Jan.28(Tue) [A2ターム火曜最終授業日]	Aセメスター社会科学・人文科学・展開科目・総合科目 (原則として授業と同一曜限) A Semester Social Sciences, Humanities, Intermediate Courses, Integrated Courses (In principle, examinations are held on the same day and period as the regular class)(Exams for PEAK's Foundation Courses are also held)				
		1月29日(水) Jan.29(Wed) [A2ターム水曜最終授業日]	Aセメスター社会科学・人文科学・展開科目・総合科目 (原則として授業と同一曜限) A Semester Social Sciences, Humanities, Intermediate Courses, Integrated Courses (In principle, examinations are held on the same day and period as the regular class)(Exams for PEAK's Foundation Courses are also held)				
		1月30日(木) Jan.30(Thu)	A2ターム科目 A2 Term Courses	電磁気学A・B April-entry students Electricity and Magnetism	振動・波動論 April-entry students Oscillations and Waves	アルゴリズム入門 April-entry students Introduction to Algorithms	線型代数学② April-entry students Linear Algebra②
		1月31日(金) Jan.31(Fri)	A2ターム科目 A2 Term Courses	必修外国語(1年)※「演習」は除く April-entry students Required Foreign Languages (Year1)	生命科学Ⅱ April-entry students Biological Sciences II	構造化学 April-entry students Basics in Chemical Bonding	図形科学A April-entry students Graphic Science A
		2月3日(月) Feb.3(Mon)	A2ターム科目 A2 Term Courses	必修外国語(1年)※「演習」は除く April-entry students Required Foreign Languages (Year1)	英語一列② English I (April-entry)	微分積分学② April-entry students Calculus②	
		2月8日(土) Feb.8(Sat)	予備 Extra				

※ 2月8日は予備日とする。
February 8 is for extra.

※ ※外国語特修クラスの試験は、「必修外国語(1年)」の時間帯に行う。
Exams for Special Classes of Foreign Languages will be conducted on the same schedule as “Required Foreign Languages (Year1)”.

教 員 各 位

東 京 大 学 教 養 学 部

A セメスター／A1・A2 ターム成績報告

2024 年度 A セメスター／A1・A2 ターム成績は下記のとおり成績報告等をよろしくお願いします。

記

(1) 成績報告

成績は下記期日までに UTAS「成績・定期試験」→「成績登録」から報告してください。

期限に遅れた場合は進学・進級判定に多大な影響を与えますので、締切日を厳守してください。

成績報告期限に海外などへ渡航予定の方は、成績報告期限よりも早めにご対応をお願いいたします。

1・2 年生、編入生、PEAK 1・2 年生 A1 ターム 成績報告期限

: 12月5日(木) 正午

1・2 年生、編入生、PEAK 1・2 年生 A セメスター／A2 ターム 成績報告期限

: 2月10日(月) 正午

(2) 成績評価の確認

学生は成績が不合格（不可、不合格、欠席）の科目は、UTAS を通じて「成績評価の確認」を申請することができます。操作方法等の詳細については 2 ページ目以降を参照ください。

訂正があった場合、内容によっては進学・進級に影響するため、締切日の厳守をお願いいたします。

学生の成績評価の確認願申請期間：3月6日(木)～7日(金) 16時50分

教員の回答期限：3月11日(火) 午前9時

(3) 成績評価に関する申し合わせと理由書

「優」及び「優上」を合わせて受験者の 20%～40%の範囲を超えた場合の理由書は、所定の様式を使用することになっております。詳細は以下を参照ください。(UTAS 掲示板からも確認できます)

・成績評価に関する申し合わせ：https://zenkyomu.c.u-tokyo.ac.jp/seiseki/seiseki_moushiawase.pdf

・理由書様式：<https://zenkyomu.c.u-tokyo.ac.jp/seiseki/riyuusho.xlsx>

※理由書は、前期課程各部会開講科目は部会主任まで、各学部開講総合科目は教務課まで提出ください。

(4) 答案等の管理

試験終了後の答案（レポート等も含む）や出欠簿等採点の根拠となる資料に関して、必ず1年間の保管をお願いいたします。(試験問題、回答例、レポート問題（課題）は5年保存してください。)

以 上

To Faculty Members

College of Arts and Sciences
The University of Tokyo**Guidelines for Grade Reporting (A Semester & A1 Term & A2 Term)**

The following are the guidelines for grade reporting for A Semester, A1 Term and A2 Term, 2024.

(1) Grade Reporting

Please make sure to register students' grades on UTAS (“Grades” → “Register grades”) by the deadlines below.

Strictly observe the deadlines, as grades submitted after the deadlines will not be reflected in the decision's made on the student's status especially for advancement and matriculation procedure to second year or Senior Division. Those going abroad during the grade reporting periods are requested to make sure that they submit all grades well in advance of the deadline.

Deadline for A1 Term

April-entry (1st & 2nd year) & PEAK (1st & 2nd year) Students/Transfer students: Noon, Dec. 5 (Thu)

Deadline for A Semester & A2 Term

April-entry (1st & 2nd year) & PEAK (1st & 2nd year) Students/Transfer students: Noon, Feb. 10 (Mon)

(2) Grade Confirmation Request

Students may request grade confirmation through UTAS if their grade was Fail (F/Fail or Absent). Refer to the following pages for details on the grade confirmation outline and the correction procedures.

(For April-entry(1st & 2nd) & PEAK (1st & 2nd year) students)

Period for Grade Confirmation Request by Students: Mar. 6 (Thu) ~ Mar. 7 (Fri) 4:50 p.m.

Deadline for Instructor's Reply: Mar. 11 (Tue) 9:00 a.m.

Your answer to the Grade Confirmation Request may affect the advancement to Senior Division of the student. Careful calculation is required and be sure to avoid incorrect input when reporting grades. The deadlines must be observed strictly.

(3) Faculty Agreement on Grade Evaluation and Statement of Reason

If the number of students receiving the “A” or “A+” grade exceeds or falls below 20-40 % of all the examinees, a statement of reason in a specified format is required. See below for details.

- Faculty Agreement on Grade Evaluation : https://zenkyomu.c.u-tokyo.ac.jp/seiseki/seiseki_moushiawase.pdf
- Statement of Reason format*: <https://zenkyomu.c.u-tokyo.ac.jp/seiseki/riyuusho.xlsx>

* Submit Statement of Reason to the Department head (*bukai-shunin*) for courses offered by each Junior Division department (*bukai*), and to the Academic Affairs Division for Integrated courses (courses offered by Faculties, centers, etc.).

(4) Handling of Answer Sheets after Exams and Reports

Please keep the evidential documents for your grading such as answer sheets, reports, and participation checklists for a year. (Examination papers, sample answers, and reports (written assignments) should be kept for five years.

教 職 員 各 位

教 養 学 部 長

駒場祭期間中及び前日の車両入構規制について

このことについて、駒場祭を円滑に運営するために、東京大学教養学部等構内交通規則第6項に基づき、下記のとおり臨時措置を実施いたしますので、各位のご協力をお願いします。

記

1. 2024年11月21日（木）から11月24日（日）までの期間は、駒場祭開催及び前日準備のため、駒場Ⅰキャンパス構内への車両の入構は出来ません。公務上のやむを得ない理由により車両で入構する場合は、駒場祭委員会の発行する車両入構許可証が必要となりますので、許可証交付を希望する方は、10月31日（木）までに、以下のURLから「駒場祭車両入構パス」の申請をしてください。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdcArzi_5oks7HybL7nHR4GqyBKVvj0kmKRlKsybWnpNIfwJA/viewform?usp=sf_link

車両入構許可証は、後日 pdf 形式で配付されるため各自で印刷し、入構する際に門にいる委員に提示するようお願いいたします。

2. 許可を受けた車両の入退構は、炊事門・北門（野球場門）のみとし、入構の際には必ず許可証を提示してください。
3. 自転車は入構の申請は必要ありませんが、構内は混雑しておりますので、正門前で下車した上で情報教育棟前の駐輪スペースに駐輪してください。
4. 上記期間中、入構の際に使用する門、構内での通行路及び駐車位置については、駒場祭委員会の誘導に従ってください。
5. 駒場祭前日の11月21日（木）においては、テントの設営等の準備作業が開始され、車両の退構が困難になる恐れがありますので、入構される際には十分ご注意ください。
6. 宅配便及び郵便局の車両の入構も規制対象となります。

（上記期間中は、宅配便及び郵便関係の利用は極力控えていただきますようお願いいたします。臨時に入構する必要がある場合は、坂下門（小扉）以外の門であれば対応可能ですが、入構制限の関係上、通常より時間を要しますので、予めご承知置き願います。）

<担当>

教養学部等学生支援課学生支援チーム 内山・近藤・上田
TEL:03-5454-6073/6074（内 46073/46074）
MAIL:shien-team.c@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

駒場 I キャンパスの環境整備について

日時：令和6年12月3日（火） 14:00～15:30

（雨天時は12月4日（水）に延期）

普通ゴミ（5種）：所定の集積所 計6か所

粗大ゴミ：18号館西側、数理科学研究科棟東側 駐車場

パソコン等：18号館西側のみ

（必ずハードディスク及びメモリーを消去・破壊し、再生不可能な状態で廃棄して下さい。）

落ち葉：バイオネスト 計13か所

※12月2日（月）～6日（金）の5日間は集積場所への駐車は禁止です。

※粗大ごみ、PCの回収は天候に関わらず**12月3日（火）のみ**となります。

※必ずゴミは**分別**してください。分別されていないゴミは回収しません。



【機密書類の廃棄処理】

当日併せて実施予定です。

後日、経理課用度チームから通知があります。

【放置自転車24の処理】

構内の放置自転車の整理（撤去）も実施します。

不要物品の処分について

集積日時 12月3日(火) 9:00~16:00 ※時間厳守

集積場所 18号館西側、数理科学研究科棟東側 駐車場

【廃棄できないもの】

- ・分別されていない廃棄物
(例:封筒や文具(可燃)、工具(不燃)などが入ったままのプラチックケースや棚)
- ・危険物(例:ボンベなど)
- ・液体が入った容器、ガスが入ったままのスプレー缶
- ・プリンターのトナーカートリッジ、インク
- ・アスベストが含まれている可能性のある実験台



▶18号館西側の集積所

入口を2箇所のみ(1箇所は学生団体専用)といたします。

入口で事務担当者の確認を受けて廃棄してください。

— 25 —

※作業の妨げになりますので、廃棄後は速やかに退出してください。

差出人: 情報システム部情報環境課セキュリティ対策チーム
送信日時: 2024年9月13日金曜日 11:06
宛先: 情報システム部情報環境課セキュリティ対策チーム
件名: 【再送】標的型攻撃メール訓練の実施に向けたご協力について（依頼）

※何度も申し訳ございません。文中の URL リンクが誤って認識される場合があるため修正したものをお送りします。

※本メールは、部局 CISO、部局 CERT 責任者、部局 CISO／部局 CERT 責任者
事務担当窓口に BCC で送信しています。

2024 年 9 月 13 日

部局 CISO 殿

部局 CERT 責任者 殿

最高情報セキュリティ責任者（CISO）
執行役・副学長 田浦 健次郎

標的型攻撃メール訓練の実施に向けたご協力について（依頼）

平素より、本学の情報セキュリティ対策にご協力いただき、ありがとうございます。
本学では、「東京大学におけるサイバーセキュリティ対策等基本計画」に基づき、
標的型攻撃メール訓練を教職員に対し毎年実施しています。

本訓練は、標的となりうる教職員に当該訓練を継続実施することにより、個々の教職員におけるセキュリティ意識の向上、怪しいと気付く視点及び適切な初動についての教育及び実施後アンケートによりセキュリティ意識の確認を行うことを目的としております。

今年度も各個人のメールアドレス宛てに訓練メールをお送りしますので、各部局におかれましては、訓練メール参加希望者のメールアドレスの取りまとめ及び訓練メール受信時の問い合わせ対応など、ご協力いただけますようお願いいたします。

参加希望者のメールアドレス取りまとめの依頼につきましては、情報システム部が担当しますので、別途ご連絡いたします。

なお、来年度以降のメールアドレスの収集については、人事情報システムの「学内メールアドレス」へ各自で登録いただいているメールアドレスへ行うことを検討しておりますので、通常使用しているメールアドレスを登録いただきますようお願いいたします。

※登録／確認方法

https://univtokyo.sharepoint.com/sites/utokyoportal/wiki/SiteAssets/d/Targeted_Attack_Email_Training/jjs-mailaddress-reg.pdf

また、本訓練の実施につきましては、実施方法や実施時期の詳細が決まり次第、別途ご連絡をいたします。

本件問い合わせ先：本部情報環境課 セキュリティ対策チーム
e-mail：jouhousecurity.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

2025年度 第一段階進学選択進学内定者数

令和6年8月29日

法学部 (法学部)	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	文一	理一		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	270	4	12	322 270			2 1	4 3		52	6 1	28 11	1	1	

経済学部 (経済学部)	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	文二	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	182	7	42		277 183	2	14 5	11 2		27 12	94 27	33 27	9 1	9 2	

文学部 (A群(思想文化))	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	37		9			43 37				3 2	3 2	6 1	5 2	4 2	

文学部 (B群(歴史文化・日本史学))	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	16		2			19 16						3 2			

文学部 (O群(歴史文化・東洋史学))	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	12		2			3 3					2 2				

文学部 (D群(歴史文化・西洋史学))	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	16		2			15 15					1 1				

文学部 (E群(歴史文化・考古学))	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4		1			8 4						4 1			

文学部 (F群(歴史文化・美術史学))	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	9		2			6 6									

文学部 (G群(言語文化))	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	59		14			52 52				3 3	1 1		3 3	5 5	

文学部 (H群(心理学))	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	15		2			18 15				1 1	2	3	3 1	2 1	

文学部 (I群(社会心理学))	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	11		2			16 11				1 1	1 1	5 1			

文学部 (J群(社会学))	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	25		8			40 25				3 2	2 1	15 5			

教育学部 (基礎教育学)	第一段階定数			内定者数											
				指定科類						全科類					
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	9		3			15 9				1 1		6 2			

教育学部 (比較教育社会学)	第一段階定数		内定者数												
			指定科類						全科類						
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	7	3			14 7				2 1		7 2				

教育学部 (教育実践・政策学)	第一段階定数		内定者数												
			指定科類						全科類						
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	12	5			14 12				3 2	1 1	2 2	1 2			

教育学部 (教育心理学)	第一段階定数		内定者数												
			指定科類						全科類						
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	10	2	3			17 10		2 2		1 1	7 2				

教育学部 (身体教育学)	第一段階定数		内定者数												
			指定科類						全科類						
	指定科類		全科類	文科			理科			文科			理科		
				文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	---	11							1 1	1 1	3 3				

教養学部 (超域文化科学)	第一段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
	文科			理科			文科			理科					
	文一・二	文三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	6	12	5	8 5	4 1	36 12				3	3	24 4	1 1	1	
教養学部 (地域文化研究)	第一段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
	文科			理科			文科			理科					
	文一・二	文三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	8	12	2	2 2	6 6	29 12						17 2		1	
教養学部 (総合社会科学)	第一段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
	文科			理科			文科			理科					
	文一・二	文三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	11	10	1	15 7	5 4	17 10				8	1	7 1			
教養学部 (数理自然科学)	第一段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
	文科			理科			文科			理科					
	理科	文一		文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	
	6		1				10 4	2 2			1 1		6		
教養学部 (物質基礎科学)	第一段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
	文科			理科			文科			理科					
	理科	文一		文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	
	12		---				12 10	6 2							
教養学部 (統合生命科学)	第一段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
	文科			理科			文科			理科					
	理科	文一		文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	
	11		3				6 5	6 6		1 1		1 1	1 1		
教養学部 (認知行動科学)	第一段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
	文科			理科			文科			理科					
	文科	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	3	3	---	1		4 3	3 3	1							
教養学部 (スポーツ科学)	第一段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
	文科			理科			文科			理科					
	理科	文一		文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	
	2		---					2 2							
教養学部 (学際科学科A群(科学技術 論、地理・空間))	第一段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
	文科			理科			文科			理科					
	文科	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4	4	---	2	4 1	7 3	2 2	2 2							
教養学部 (学際科学科B群(総合情報 学、広域システム))	第一段階定数			内定者数											
	指定科類		全科類	指定科類						全科類					
	文科			理科			文科			理科					
	文科	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	2	5	2		2 1	2 1	12 4	1 1			1 1	1	8 1		

教養学部 (国際日本研究コース)	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	---		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
		3							1 1		1 1			
教養学部 (国際環境学コース)	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	---		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
		3									1 1	2 2		

工学部 (社会基盤学A (設計・技術戦略))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一	理二・三	文科			理科			文科			理科		
	11	1	1				11 11	3 1						2 1
工学部 (社会基盤学B (政策・計画))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一		文科			理科			文科			理科		
	11		3				24 11				4 3	2	13	3
工学部 (社会基盤学C (国際プロジェクト))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一		文科			理科			文科			理科		
	3		3				6 3			2	3 2	3 1	3	
工学部 (建築学)	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一		文科			理科			文科			理科		
	32		6				46 32				2 2	4 1	14	6 3
工学部 (都市環境工学(環境共生・国際公共衛生・水・環境ハイオ))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一	理二・三	文科			理科			文科			理科		
	5	3	3				7 5	6 3		2 1	4	2 2	2	3
工学部 (都市計画(都市と地域の分析・計画・デザイン))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一		文科			理科			文科			理科		
	14		6				29 14				7 4	8 2	15	2
工学部 (機械工学A(デザイン・エネルギー・ダイナミクス))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一	理二・三	文科			理科			文科			理科		
	57	2	2				72 57	6 2				1 1	15	4 1
工学部 (機械工学B(ロボティクス・知能・ヒューマンインターフェイス))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一		文科			理科			文科			理科		
	26		1				45 26				1		19	2 1
工学部 (航空宇宙学)	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一	理二・三	文科			理科			文科			理科		
	34	1	---				65 34	4 1						
工学部 (精密工学(知的機械・ハイオテクノロジー・生産科学))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一	理二・三	文科			理科			文科			理科		
	21	3	3				44 21	11 3					23	8 3
工学部 (電子情報工学(計算知能・コミュニケーション・メディアデザイン))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一		文科			理科			文科			理科		
	29		6				41 29						12	7 5
工学部 (電気電子工学(エネルギー・環境・ナノ物理・電子&光システム))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一		文科			理科			文科			理科		
	34		6				58 34				1 1	2 2		24 1

工学部 (応用物理・物理工学 (物性物理・量子情報))	第一段階定数			内定者数										
	指定科類		全科類	指定科類						全科類				
	理一			文科			理科			文科			理科	
	28		3	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
工学部 (計数工学・数理/システム情報 (数理工学・物理情報学・認識 行動学))	第一段階定数			内定者数										
	指定科類		全科類	指定科類						全科類				
	理一 理二・三			文科			理科			文科			理科	
	31 3		2	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
工学部 (マテリアル工学A (バイオマテリアル))	第一段階定数			内定者数										
	指定科類		全科類	指定科類						全科類				
	理一 理二・三			文科			理科			文科			理科	
	5 (10)		(8)	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
工学部 (マテリアル工学B (環境・基盤マテリアル))	第一段階定数			内定者数										
	指定科類		全科類	指定科類						全科類				
	理一 理二・三			文科			理科			文科			理科	
	14 (10)		(8)	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
工学部 (マテリアル工学C (ナノ・機能マテリアル))	第一段階定数			内定者数										
	指定科類		全科類	指定科類						全科類				
	理一 理二・三			文科			理科			文科			理科	
	15 (10)		(8)	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
工学部 (応用化学)	第一段階定数			内定者数										
	指定科類		全科類	指定科類						全科類				
	理一 理二・三			文科			理科			文科			理科	
	30 5		---	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
工学部 (化学システム工学(環境・エネ ルギー・医療))	第一段階定数			内定者数										
	指定科類		全科類	指定科類						全科類				
	理一 理二・三			文科			理科			文科			理科	
	22 6		3	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
工学部 (化学生命工学)	第一段階定数			内定者数										
	指定科類		全科類	指定科類						全科類				
	理一 理二・三			文科			理科			文科			理科	
	19 13		1	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
工学部 (システム創成A (環境・エネルギーシステム))	第一段階定数			内定者数										
	指定科類		全科類	指定科類						全科類				
	理一 理二・三			文科			理科			文科			理科	
	18 6		4	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
工学部 (システム創成B (システムデザイン&マネジメント))	第一段階定数			内定者数										
	指定科類		全科類	指定科類						全科類				
	理一			文科			理科			文科			理科	
	20		4	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
工学部 (システム創成C (知能社会システム))	第一段階定数			内定者数										
	指定科類		全科類	指定科類						全科類				
	理一			文科			理科			文科			理科	
	24		5	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
理学部 (数学)	第一段階定数			内定者数										
	指定科類		全科類	指定科類						全科類				
	理一			文科			理科			文科			理科	
	27		3	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
理学部 (情報科学)	第一段階定数			内定者数										
	指定科類		全科類	指定科類						全科類				
	理一			文科			理科			文科			理科	
	14		4	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二
理学部 (物理学)	第一段階定数			内定者数										
	指定科類		全科類	指定科類						全科類				
	理一			文科			理科			文科			理科	
	44		5	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二

理学部 (天文学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理一		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4	1				12	4					8	3	
理学部 (地球惑星物理学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理一		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	17	5				24	17					7	8	5
理学部 (地球惑星環境学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	11	3				10	8			1	1	4	3	
						6	5			1	1	1		
理学部 (化学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	15	9				18	16					3	7	
						15	9					3	2	
理学部 (生物化学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	11	1				4	14					1	6	
						3	8						1	
理学部 (生物情報科学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	6	1				4	4					1	1	
						3	3					1		
理学部 (生物学)	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	12	2					16						4	
							12						2	

農学部 (生命化学・工学(農芸化学、生命・食・環境・情報))	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理二		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	39	12					41			1		5	2	
							39			1		5	2	
農学部 (応用生物学(農業生産、農業生物(植物、昆虫、微生物)、作物育種、生物情報))	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理二		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	8	9					9			1		3	1	
							8			1		3	1	
農学部 (森林生物科学(人と森林、生態系、樹木生態、土壌、進化、生物間相互作用、微生物))	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理二		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4	2									1			
											1			
農学部 (水圏生物科学(水生生物、海洋、水産、利用、環境、生態、資源))	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理二		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	10	3					14				1		4	
							10				1		2	
農学部 (動物生命システム科学(動物、細胞、遺伝子、代謝、発生分化、生殖、免疫、行動))	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理二		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4	3					5						1	
							4						1	
農学部 (生物素材化学(バイオマス、環境マテリアル、生分解))	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	9	----				1	8							
						1	8							
農学部 (緑地環境学(ランドスケープ、生態環境、緑地計画))	第一段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	2	2					2		2	1	1			
							2		1					

農学部 (森林環境資源科学(人と森林、生態系サービス、持続の利用管理、森林－地球相互作用、山村・里山、ランドスケープ、木質バイオマス))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理二		文科			理科			文科			理科		
	6		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
農学部 (木質構造科学(木質材料、木造建築、居住性、環境経済評価))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理科		文科			理科			文科			理科		
	5		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
農学部 (生物・環境工学(地域環境工学、生物システム工学、生物環境情報工学))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一・三	理二	文科			理科			文科			理科		
	5	11	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
農学部 (農業・資源経済学(農業経済、地域経済、農業ビジネス、政策、歴史、食料・資源、農村開発))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	文科	理科	文科			理科			文科			理科		
	7	14	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
農学部 (フィールド科学(生物多様性、自然共生、生態系サービス))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理二		文科			理科			文科			理科		
	3	2	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
農学部 (国際開発農学(国際協力、学際、資源、食糧、農業経済、情報、フィールド))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理科		文科			理科			文科			理科		
	9	4	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
農学部 (獣医学課程獣医学(生命医科学、動物医療、動物生産、動物衛生・公衆衛生))	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理二		文科			理科			文科			理科		
	19	3	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
薬学部 (薬学部)	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理一・三	理二	文科			理科			文科			理科		
	16	30	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
医学部 (医学)	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理二	理三	文科			理科			文科			理科		
	6	65	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
医学部 (健康総合科学科)	第一段階定数		内定者数											
	指定科類		指定科類						全科類					
	理科		文科			理科			文科			理科		
	12	18	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三

【注記】

- (1) 内定の人数、志望登録した人数を表示している。
内定の人数のうち、最低点が同点の場合は定数を超えて内定する。

《内定の人数の見方（例）》

100
65 2

← その学部・学科等を志望登録した人数。

← その学部・学科等の内定の人数

この例の場合、定数内の人数が65人、
最低点が同点（小数点第二位まで）の定数内の人数が2人であったことを示す。

- (2) 外国人留学生《日本政府（文部科学省）奨学金留学生、外国政府派遣留学生、
外国学校卒業学生特別選考第1種入学者、公益財団法人日本台湾交流協会学部留学生》、PEAK生及び
学校推薦型選抜入学者は集計には算入していない。
- (3) 経済学部に進学選択準則に記載されている「各科類の基本科類定数の6％」にあたる数とは次のとおりである。
文科一類 25名、文科三類 30名、理科一類 69名、理科二類 34名、理科三類 6名

2025年度 第二段階進学選択進学内定者数

令和6年9月19日

法学部 (法学部)	第二段階定数				内定者数											
					指定科類						全科類					
	指定科類			全科類	文科			理科			文科			理科		
	文一	文二・三	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	80	2	2	43	98 67	58	50 2	22 1	24 1		31	58 14	48 21	21 3	23 5	

経済学部 (経済学部)	第二段階定数				内定者数											
					指定科類						全科類					
	指定科類			全科類	文科			理科			文科			理科		
	文二	理科			文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	81	3		18		120 81		69 1	57 2		38 8	39	41 3	68 3	55 4	

文学部 (A群(思想文化))	第二段階定数				内定者数											
					指定科類						全科類					
	指定科類			全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三				文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	9			12			63 9				14 2	32 6	54 1	15 2	12 1	

文学部 (B群(歴史文化_日本史学))	第二段階定数				内定者数											
					指定科類						全科類					
	指定科類			全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三				文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	3			4			26 3				10	16	23	1	5	

文学部 (C群(歴史文化_東洋史学))	第二段階定数				内定者数											
					指定科類						全科類					
	指定科類			全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三				文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	13			4			21 1				9	13	20	3 1	3	

文学部 (D群(歴史文化_西洋史学))	第二段階定数				内定者数											
					指定科類						全科類					
	指定科類			全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三				文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4			5			37 2				13	25 1	35	5 2	5 1	

文学部 (E群(歴史文化_考古学))	第二段階定数				内定者数											
					指定科類						全科類					
	指定科類			全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三				文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	3			2			22 3				7	11	19 2	2	7	

文学部 (F群(歴史文化_美術史学))	第二段階定数				内定者数											
					指定科類						全科類					
	指定科類			全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三				文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	5			4			22 1				5	12 1	21	6 1	8 1	

文学部 (G群(言語文化))	第二段階定数				内定者数											
					指定科類						全科類					
	指定科類			全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三				文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	22			17			60 11				12	35 5	49	18 4	14 2	

文学部 (H群(心理学))	第二段階定数				内定者数											
					指定科類						全科類					
	指定科類			全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三				文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	2			4			53 2				9 1	46	51	15 1	18 2	

文学部 (I群(社会心理学))	第二段階定数				内定者数											
					指定科類						全科類					
	指定科類			全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三				文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	3			3			49 3				10 1	33 1	46	14	9 1	

文学部 (J群(社会学))	第二段階定数				内定者数											
					指定科類						全科類					
	指定科類			全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三				文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	9			7			74 9				19 2	45 1	65 4	9	8	

教育学部 (基礎教育学)	第二段階定数				内定者数											
					指定科類						全科類					
	指定科類			全科類	文科			理科			文科			理科		
	文三				文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4			3			15 1				2	5 2	14	3		

教育学部 (比較教育社会学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	文三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	3				15 3				4 1	4	12 1	2	1	
教育学部 (教育実践・政策学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	文三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4				19 4				3 1	7	15 1	3 1		
教育学部 (教育心理学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	文三	理科	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4	2			18 4	8 2	3		4	6	14 1	6	3	
教育学部 (身体教育学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	文三	理科	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	---									9 2	3	5	2 1	

教養学部 (超域文化科学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	文一・二	文三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	2	9	13 1	13 1	52 9				12	12	43 1	8	7	
教養学部 (地域文化研究)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	文一・二	文三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	3	6	9 1	12	44 6				8	12	38 2	2	4	
教養学部 (総合社会科学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	文一・二	文三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	8	1	18 7	15 1	21 1				11	14	20 1	3	2	
教養学部 (数理自然科学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	2	---				55 1	12 1							
教養学部 (物質基礎科学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	7	---				58 7	22							
教養学部 (統合生命科学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	3	1				11	24 3		3 1	3	4	11	21	
教養学部 (認知行動科学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	文科	理科	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	1	1	6 1	7	9	23	16 1							
教養学部 (スポーツ科学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	1	---				10 1	5							
教養学部 (学際科学科A群(科学技術論・地理・空間))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	文科	理科	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4	1	3 1	12	16 3	22 1	8							
教養学部 (学際科学科B群(総合情報学・広域システム))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	文科	理科	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	1	3	3	8	5 1	61 3	14							

教養学部 (国際日本研究コース)	第二段階定数		内定者数													
			指定科類						全科類							
	指定科類		全科類		文科			理科			文科			理科		
	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三				
	---	3							3	2	3 1		1			

教養学部 (国際環境学コース)	第二段階定数		内定者数													
			指定科類						全科類							
	指定科類		全科類		文科			理科			文科			理科		
	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三				
	---	2							1	1	3 1		1			

工学部 (社会基盤学A (設計・技術戦略))	第二段階定数		内定者数													
			指定科類						全科類							
	指定科類		全科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三		
	7	0	0				115 7									

工学部 (社会基盤学B (政策・計画))	第二段階定数		内定者数													
			指定科類						全科類							
	指定科類		全科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三			
	6	0				117 6										

工学部 (社会基盤学C (国際プロジェクト))	第二段階定数		内定者数													
			指定科類						全科類							
	指定科類		全科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三			
	3	0				77 3										

工学部 (建築学)	第二段階定数		内定者数													
			指定科類						全科類							
	指定科類		全科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三			
	13	4				94 13			1	3	6 1	81	21 3			

工学部 (都市環境工学(環境共生・国際公共衛生・水・環境バイオ))	第二段階定数		内定者数													
			指定科類						全科類							
	指定科類		全科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三		
	3	0	3				91 3			1	5	6 1	88	20 2		

工学部 (都市計画(都市と地域の分析・計画・デザイン))	第二段階定数		内定者数													
			指定科類						全科類							
	指定科類		全科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三			
	8	4				101 8			1	7 1	14 2	93	26 1			

工学部 (機械工学A(デザイン・エネルギー・ダイナミクス))	第二段階定数		内定者数													
			指定科類						全科類							
	指定科類		全科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三		
	31	0	0				213 31									

工学部 (機械工学B(ロボティクス・知能・ヒューマンインターフェース))	第二段階定数		内定者数													
			指定科類						全科類							
	指定科類		全科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三			
	13	0				178 13										

工学部 (航空宇宙学)	第二段階定数		内定者数													
			指定科類						全科類							
	指定科類		全科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三		
	18	0	---				127 18									

工学部 (精密工学(知的機械・バイオメディカル・生産科学))	第二段階定数		内定者数													
			指定科類						全科類							
	指定科類		全科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三		
	11	0	3				150 11			2	2 2	3	139	32 1		

工学部 (電子情報工学(計算知能・コミュニケーション・メディアデザイン))	第二段階定数		内定者数													
			指定科類						全科類							
	指定科類		全科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三			
	19	3				166 19			1	1		147	28 3			

工学部 (電気電子工学(エネルギー・環境・ナノ物理・電子＆光システム))	第二段階定数		内定者数													
			指定科類						全科類							
	指定科類		全科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三			
	19	3				167 19			2			148	34 3			

工学部 (応用物理・物理工学 (物性物理・量子情報))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	14		3				111 14			1			97	23 3
工学部 (計数工学・数理/システム情報 (数理工学・物理情報学・認識 行動学))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	18	0	3				122 18				1	104	26 3	
工学部 (マテリアル工学A (バイオマテリアル))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	9	(2)	(0)				113 9	36 1						
工学部 (マテリアル工学B (環境・基盤マテリアル))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	8	(2)	(0)				132 8	26						
工学部 (マテリアル工学C (ナノ・機能マテリアル))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	8	(2)	(0)				149 8	42 1						
工学部 (応用化学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	18	4	3				80 18	48 4				62	44 3	
工学部 (化学システム工学(環境・エネ ルギー・医療))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	11	3	0				85 11	56 3						
工学部 (化学生命工学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	11	7	4				62 11	65 7		1		51	58 4	
工学部 (システム創成A (環境・エネルギーシステム))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一	理二・三	文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	10	4	(3)				152 10	48 4		1	4	2	142	44
工学部 (システム創成B (システムデザイン&マネジメント))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	11		(3)				185 11			1	5	3	174	41 1
工学部 (システム創成C (知能社会システム))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理一		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	14		(3)				155 14			1	6	4	141	33 2
理学部 (数学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	0		13						2		1	65 11	18 2	
理学部 (情報科学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	0		10						1		1	79 10	26	
理学部 (物理学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類		文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	0		21						1 1			109 17	31 3	

理学部 (天文学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	0	4							1			41 3	18 1	
理学部 (地球惑星物理学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	0	10							2			75 8	34 2	
理学部 (地球惑星環境学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	3	2				47 2	34 1				1 1	45	33 1	
理学部 (化学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	13	---				43 8	50 5							
理学部 (生物化学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	6	---				15 1	44 5							
理学部 (生物情報科学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	5	---				24 2	35 3							
理学部 (生物学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	0	10										11 1	31 9	

農学部 (生命化学・工学(農芸化学、 生命・食・環境・情報))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	24	4				31 3	83 13				1	28	70	
農学部 (応用生物学(農業生産、農業 生物(植物、昆虫、微生物)、 作物育種、生物情報))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	8	4				11 1	29 2			2	2	10	27	
農学部 (森林生物科学(人と森林、生 態系、樹木生理生態、土壌、 進化、生物間相互作用、微生物))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	2	7				11 1	17 1		1	3	2 1	10	16	
農学部 (水圏生物科学(水生生物、海 洋、水産、利用、環境、生態、 資源))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	3	3				18 1	28 2			4	2	17 1	26 2	
農学部 (動物生命システム科学(動物、 細胞、遺伝子、代謝、発生 分化、生殖、免疫、行動))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4	---				9	37 2							
農学部 (生物素材化学(バイオマス、環 境マテリアル、生分解))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4	---				20 1	34 3							
農学部 (緑地環境学(ランドスケープ、生 態環境、緑地計画))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	2	0				23 1	22 1							

農学部 (森林環境資源科学(人と森林、生態系サービス、持続的利用管理、森林－地球相互作用、山村・里山、ランドスケープ、木質バイオマス))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	1	10				16 1	18		3 1	5 2	5	15 3	18 4	
農学部 (木質構造科学(木質材料、木造建築、居住性、環境経済評価))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	2	1				26	27 2		1	2 1		26	25	
農学部 (生物・環境工学(地域環境工学、生物システム工学、生物環境情報工学))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	文科 理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	1 5	10	1	2	1	27 3	34 2		1	2	1	24 4	32 2	
農学部 (農業・資源経済学(農業経済、地域経済、農業ビジネス、政策、歴史、食料・資源、農村開発))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	文科 理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	4 7	---	8 1	61	21 3	47 2	47 5							
農学部 (フィールド科学(生物多様性、自然共生、生態系サービス))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	2	1				19 1	21 1		1	6	2	18 1	20	
農学部 (国際開発農学(国際協力、学際、資源、食糧、農業経済、情報、フィールド))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	3	5				22 2	44 1		5 2	19 1	10 2	20	43	
農学部 (獣医学課程獣医学(生命医科学、動物医療、動物生産、動物衛生・公衆衛生))	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	8	---				7	27 8							
薬学部 (薬学部)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	29	---				49 3	86 26							
医学部 (医学)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理二 理三		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	2 35	1					12 2	34 34	1			1	10 1	
医学部 (健康総合科学科)	第二段階定数		内定者数											
			指定科類						全科類					
	指定科類	全科類	文科			理科			文科			理科		
	理科		文一	文二	文三	理一	理二	理三	文一	文二	文三	理一	理二	理三
	13	17				5	8 1		1	2 1	3 1	5	7	

【注記】

(１) 内定の人数、志望登録した人数を表示している。

《内定の人数の見方（例）》

100	← その学部・学科等を志望登録した人数。
65	← その学部・学科等の内定の人数

(２) 外国人留学生《日本政府（文部科学省）奨学金留学生、外国政府派遣留学生、外国学校卒業学生特別選考第１種入学者、公益財団法人日本台湾交流協会学部留学生》、PEAK生及び学校推薦型選抜入学者は集計には算入していない。

(３) 経済学部進学選択準則に記載されている「各科類の基本科類定数の６％」にあたる数とは次のとおりである。
文科一類 ２５名、文科三類 ３０名、理科一類 ６９名、理科二類 ３４名、理科三類 ６名

2025年度 第三段階 進学選択会議資料(内定者数)

令和6年9月26日

文学部		第 三 段 階					
		定数		内定者数		定数 — 内定者数	
		指定科類	全科類	指定科類	全科類	指定科類	全科類
		文科三類		文科三類		文科三類	
人文学科	B群	---	4	---	0	---	4
	C群	3	---	0	---	3	---
	D群	2	1	0	0	2	1
	F群	4	1	0	0	4	1
	G群	11	6	0	4	11	2
文学部合計		20	12	0	4	20	8

教育学部		第 三 段 階								
		定数			内定者数			定数 — 内定者数		
		指定科類		全科類	指定科類		全科類	指定科類		全科類
		文科三類	理科		文科三類	理科		文科三類	理科	
総合教育科学	基礎教育学	1	---	1	0	---	0	1	---	1
	教育実践・政策学	---	---	1	---	---	0	---	---	1
	身体教育学	---	---	8	---	---	0	---	---	8
教育学部合計		1	0	10	0	0	0	1	0	10

教養学部		第 三 段 階								
		定数			内定者数			定数 — 内定者数		
		指定科類		全科類	指定科類		全科類	指定科類		全科類
		文一・二	文三		文一・二	文三		文一・二	文三	
教養学科	地域文化研究	2	---	---	0	---	---	2	---	---
教養学部(文系)合計		2	0	0	0	0	0	2	0	0

農学部		第 三 段 階								
		定数			内定者数			定数 — 内定者数		
		指定科類		全科類	指定科類		全科類	指定科類		全科類
		理科	文科		理科	文科		理科	文科	
応用生命科学	生命化学・工学	8	---	4	8	---	1	0	---	3
	応用生物学	5	---	4	0	---	0	5	---	4
	森林生物科学	---	---	6	---	---	1	---	---	5
	動物生命システム科学	2	---	---	2	---	---	0	---	---
環境資源科学	生物・環境工学	---	1	4	---	0	4	---	1	0
農学部合計		15	1	18	10	0	6	5	1	12

医学部		第 三 段 階											
		定数				内定者数				定数 — 内定者数			
		指定科類			全科類	指定科類			全科類	指定科類			全科類
		理三	理二	理科		理三	理二	理科		理三	理二	理科	
健康総合科学		---	---	12	15	---	---	0	0	---	---	12	15
医学部合計		0	0	12	15	0	0	0	0	0	0	12	15

2025年度 進学選択 内定者科類別内訳

学部	定数 (学校推薦型選抜入学者を引く前の定数)	段階	文一	文二	文三	理一	理二	理三	計
法学部	413 (420)	第一	270	1	11	1	3	0	286
		第二	67	14	23	4	6	0	114
		第三							
		計	337	15	34	5	9	0	400
経済学部	333 (340)	第一	12	183	27	6	4	0	232
		第二	8	81	3	4	6	0	102
		第三							
		計	20	264	30	10	10	0	334
文学部	358 (367)	第一	9	7	194	5	8	0	223
		第二	6	15	51	11	8	0	91
		第三	1	2	0	1	0	0	4
		計	16	24	245	17	16	0	318
教育学部	97 (100)	第一	5	3	49	0	2	0	59
		第二	2	4	15	3	1	0	25
		第三	0	0	0	0	0	0	0
		計	7	7	64	3	3	0	84
教養学部	183+10* (187+10*) * 教養PEAKを含む	第一	16	15	51	33	15	0	130
		第二	12	2	26	13	5	0	58
		第三	0	0	0	0	0	0	0
		計	28	17	77	46	20	0	188
工学部	949 (984)	第一	4	16	10	490	89	1	610
		第二	0	3	4	283	49	0	339
		第三							
		計	4	19	14	773	138	1	949
理学部	297 (308)	第一	0	1	3	142	54	0	200
		第二	1	0	1	63	32	0	97
		第三							
		計	1	1	4	205	86	0	297
農学部	296 (304)	第一	4	8	11	13	135	0	171
		第二	4	4	6	26	51	0	91
		第三	0	0	0	11	5	0	16
		計	8	12	17	50	191	0	278
薬学部	83 (85)	第一	0	0	0	16	38	0	54
		第二	0	0	0	3	26	0	29
		第三							
		計	0	0	0	19	64	0	83
医学部	153 (159)	第一	1	2	7	0	10	65	85
		第二	0	1	1	0	4	34	40
		第三	0	0	0	0	0	0	0
		計	1	3	8	0	14	99	125

	文一	文二	文三	理一	理二	理三	計
進学選択対象者数	422	364	495	1143	555	101	3080
第一段階内定者数	321	236	363	706	358	66	2050
第二段階内定者数	100	124	130	410	188	34	986
未内定者数(第三段階対象者)	1	4	2	27	9	1	44
第三段階内定者数	1	2	0	12	5	0	20
内定者数(合計)	422	362	493	1128	551	100	3056
未内定者数(降年者)	0	2	2	15	4	1	24

※学校推薦型選抜入学者および国費外国人留学生等については、進学先を撤回して進学選択に参加した学生のみ含む。

2024 年 11 月 2 日、3 日開催

第四回小和田記念講座開催のお知らせ



第四回小和田記念講座が、11 月 2 日（土）、3 日（日・祝）の両日、駒場 I キャンパス 18 号館ホールにてハイブリッド方式で開催されます。オランダとの時差を考慮して、初日のオープニングセッションは日本時間の夕方に行われます。

小和田記念講座は、オランダ最古の大学であるライデン大学と東京大学の人文社会科学分野における研究教育交流の促進を目的としており、2021 年度から 2026 年度までの 6 年間にわたり、国際法と国際関係（政治・経済）に関連する特定のテーマを毎年選んで、基調講演、パネル、若手研究者による討議などからなる交流活動を実施することになっています。

2022 年 5 月の第一回講座 “Emotions in International Politics”（ライデン大学にて開催）、2023 年 3 月の第二回講座 “Memory and Reconciliation”（東京大学駒場 I キャンパスにて開催）2024 年 1 月の第三回講座 “Human rights and Global Diversity”（ライデン大学にて開催）に続き、第四回記念講座は “Sustaining Peace: Peace Operations, Prevention and Reaction” をテーマとして開催されます。

参加は事前登録制とし、対面、オンラインとも一般参加可能とします。詳しくはプログラム、また随時更新予定の記念講座の HP (<https://www.owadachair.c.u-tokyo.ac.jp/>) をご覧ください。専門性とフィールド、世代の異なる専門家が集まり、自由に討論する開かれた場ですので、できるだけ多くの先生方や学生のご参加をお待ちしています。

川喜田敦子（国際交流センター長・小和田記念講座運営委員長）

※参加登録は以下の URL からお申し込みください。

<https://forms.gle/4ehC8q6fhqpqB89Y7>

▼小和田記念講座 HP



小和田記念講座
Oiwada Chair

The Owada Chair Program: Fourth Session

November 2-3, 2024: Komaba Campus I, the University of Tokyo
Format: Hybrid

Day 1: Saturday, November 2

Venue: Auditorium, Building 18

16:00-18:00	Opening Addresses by Dean Fumitaka Mafune (The University of Tokyo) and Rector Hester Bijl (Leiden University)
	Opening Remarks by Prof. Hisashi Owada
	Principal Speech by Prof. Mitsugi Endo (The University of Tokyo) <i>Discussant:</i> Prof. Jan Aart Scholte (Leiden University) & Prof. Akiko Sugiki (Keio University)
18:30-19:30	Reception

Day 2: Sunday, November 3

Venue: Auditorium, Building 18

10:00-12:00	Debating Session with young researchers and Prof. Hisashi Owada
12:00-13:00	Lunch
13:00-15:00	Debating Session with young researchers and Prof. Mitsugi Endo
15:30-16:55	PhD Workshop
16:55-17:00	Closing Remarks by Vice Dean Atsuko Kawakita

Supplementary Program: Monday, November 4

Venue: Collaboration room 1, 4th floor, Building 18

10:00-11:30	Research Seminar Prof. Eric De Brabandere (Leiden University) Prof. Shukuko Koyama (Waseda University)
-------------	---

様式1ー2

令和 6（2024）年 11月 日

総 長 殿

経済学研究科長	古澤	泰治
工学系研究所長	加藤	泰浩
総合文化研究科長	真船	文隆
情報理工学系研究科長	中村	宏
公共政策学連携研究部長	川口	大司
未来ビジョン研究センター	福士	謙介
空間情報科学研究センター	関本	義秀

連携研究機構設置申請書

東京大学基本組織規則第21条の5第1項の規定に基づき、別紙のとおり連携研究機構の設置を申請致します。

記

連携研究機構の名称：不動産イノベーション研究センター

設置予定年月日：令和7（2025）年 4月 1日

記入にあたっては、連携研究機構制度FAQもご参照ください。

東京大学 連携研究機構 概要

1	設置予定年月日	令和 7(2025)年 4月 1日
2	連携部局名 ※連携部局全てについて記載 (全学組織を含む)	経済学研究科(主管部局)、工学系研究科、総合文化研究科、情報理工学系研究科、公共政策学連携研究部、未来ビジョン研究センター、空間情報科学研究センター
3	学外の連携機関・企業等	三井不動産株式会社、三菱地所株式会社、住友不動産株式会社、東急不動産ホールディングス株式会社、東京建物株式会社、野村不動産ホールディングス株式会社、森ビル株式会社、(一社)不動産流通経営協会、国土交通省、(一社)不動産協会、(一財)不動産適正取引推進機構、(一社)全国住宅産業協会、(公社)全国宅地建物取引業協会連合会不動産総合研究所、(公社)全日本不動産協会全日みらい研究所
4	組織の名称 (英語名称)	不動産イノベーション研究センター (英語名称: Center for Real Estate Innovation) * 組織名称をセンターとする理由: 本連携研究機構は外部民間企業との連携も多く、寄附企業からはセンターという名称をつけてほしいとの要望が強く寄せられたこと、また、対外的な活動を行ううえでも「センター」という名称を使ったほうが外部から活動実態が把握しやすいという声が強かったことから、この名称を採用した。第1期目(2020～2025)の本名称について、引き続き継続して採用する。
5	全体概要	分野横断的な学術研究を実施し、産官学が一体となって、既存の学問分野にとらわれない、不動産に関する新たな研究領域を切り拓くとともに、政府に対する政策提言等を通じて、研究成果を広く社会に還元し、戦略的な不動産政策の推進や不動産ビジネスの発展につながる研究を行っていく。 第1期(2020年度～2024年度)は、大都市の都市力・国際競争力向上に必要な制度改善に関わる研究、多様なサービスとの連携によるエリア価値増進モデルの研究、官民が保有する各種不動産データの集約・評価・分析研究、AI・IoTなど新技術の進展と不動産業のあり方に係る研究等を行ってきた。これら研究テーマにつき、査読・学会発表を前提とした24のワーキングペーパー、これら研究を補足する16のレポート、研究成果の発表・深化のための10のオープンゼミナー・シンポジウムを開催したほか、これらテーマに関する学内の13の研究プロジェクトを支援した。 第2期(2025年度～2029年度)は、これまでの研究成果の更なる深化・推進を図るもので、具体的には、不動産に関する制度的研究、不動産データの活用・分析、社会変革と不動産・まちづくりのあり方に関する研究等を行う。
6	設置目的	不動産は、国民生活や経済活動を支える「場」として、今後も、その普遍的な役割を果たしていくことが期待されている。一方で、AI・IoTなど新技術の進展によって、不動産が社会に対して果たす役割が高度化していくことも予想されている。また、少子高齢化・人口減少、グローバル化、働き方改革の進展や健康志向の高まりなど不動産を巡る社会経済情勢の急速な変化に伴い、不動産に対する社会ニーズも多様化する見込みである。さらに足下では、老朽ストックの更新、エリアマネジメントなどを通じた持続可能なまちづくりの推進、人口減少地域におけるエリア価値の向上など、不動産を核とした政策(不動産政策)の展開により打開を図るべき喫緊の課題も多数存在している。 これら構造変化を的確に把握し、社会のニーズに応える課題解決を行っていくうえでは、既存の学問領域を超えた構造変化先取り型、課題解決型の学術研究が不可欠である。また、喫緊の課題に対応し、的確な不動産政策を推進するためには、政策現場の知見と不動産業の実態を学術成果と融合させる必要もある。 このため、第1期(2020年度～2024年度)の研究成果等を踏まえて、不動産を中心とした分野横断的な学術研究を一層推進し、産学官の連携による不動産研究の深化・発展を図るため、本学の連携研究機構制度を活用して、不動産政策の推進に資する研究を行うための拠点(不動産イノベーション研究センター)を設置する。
7	連携研究機構の長 (氏名・所属・職名)	柳川範之・経済学研究科・教授
8	参画教員	別紙のとおり
9	組織・運営体制 (部局間等連携体制) 人事管理体制	関係部局のメンバー等により構成される運営委員会を設置し、同委員会において、センターの運営に関する事項について審議を行う。教員配置については運営委員会の議を経て決定し、選考採用および人事管理は各連携部局が責任を持つて行う。主要研究テーマについては、それを担当する若手教員を雇用する予定である。

10	組織・運営体制 (部局間等連携体制) 予算運用体制	概要説明	企業からの支援(計228百万円)および外部研究資金(計1百万円獲得見込み)等と繰越金(約31百万円)により賄う。						
		実施予定期間における 年度別予算運用計画 ※実施予定期間(直近5年)中における年度別予算運用計画を記載下さい。見込みで結構です。		令和7(2025)年度	令和8(2026)年度	令和9(2027)年度	令和10(2028)年度	令和11(2029)年度	計 (百万円)
			事業総額	52	52	52	52	52	260
			人件費	33	33	33	33	33	165
			事業実施費 ※研究に直接 関係する費用	6	6	6	6	6	30
			運営費 ※事業実施費 以外の、連携 研究機構を運 営するための 費用(環境整備 費等)	13	13	13	13	13	65
		初年度予算詳細 ※上記初年度の事業総額の財源内訳を記入してください。 ※必要に応じて行を追加してください。	財源名 ※各財源について、1行にまとめて記入してください。 出資元やプロジェクトごとに行を分ける必要はありません。						金額 (百万円)
			寄附金						51.8
			共同研究費						0.2
			計						52
11	設置予定期間及び 自己評価を行う時期	期間: 令和7(2025)年4月1日 ～令和12(2030)年3月31日 自己評価実施予定時期: 令和11(2029)年3月							
12	実施内容	経済学研究科・工学系研究科・総合文化研究科・情報理工学系研究科・公共政策学連携研究部・未来ビジョン研究センター・空間情報科学研究センターが連携して、新たな学問分野の創造、東京大学の卓越性又は多様性の向上に資するよう、不動産に関連する分野横断的な学術研究を行う。 第1期(2020～2024年度)は、大都市の都市力・国際競争力向上に必要な制度改善、多様なサービスとの連携によるエリア価値増進、各種不動産データの集約・評価・分析、AI・IoTなど新技術の進展と不動産業のあり方等に係る研究について、査読・学会発表を前提とした24のワーキングペーパー、16のレポート、10回のオープンゼミナー・シンポジウムを開催したほか、これらテーマに関する学内の13の研究プロジェクトを支援した。これら研究については、その多くが経済、工学、法学等の分野横断的な研究であり、例えば、24のワーキングペーパーの過半が分野横断的な研究となっている。 第2期(2025～2029年度)では、①不動産に関する制度的研究(不動産権利・ガバナンスや空き家・空き地再生等の経済学・公共政策学等の連携研究)、②不動産データ活用・分析(都市再生関する人流等の定量分析や、住宅ストックの老朽化・管理適正化、気候変動の影響・適応策、GX等に関する経済学・工学等の連携研究)、③社会変革と不動産・まちづくりのあり方(AI・IoTの新技術の発展等によるイノベーションやモビリティに関する経済学・工学・公共政策学の横断的アプローチ)など、新たな不動産政策やビジネス展開に資する研究の実施を想定している。 これら連携研究を通じて、優れた若手人材の育成にも貢献するとともに、セミナーやシンポジウムの実施などにより研究成果を社会へ発信・還元する。							
13	本学の基本方針との具体的関連性	不動産イノベーション研究センターは、経済学研究科・工学系研究科・総合文化研究科・情報理工学系研究科・公共政策学連携研究部・未来ビジョン研究センター・空間情報科学研究センターが連携して、産学官連携のもと、日本初の不動産政策の推進に資する研究拠点(Perspective1 知をきわめる)として、不動産に関連する分野横断的な学術研究を推進し、卓越した学知の構築を図るものである。また、これら連携研究を通じて、優れた若手研究者の育成等に貢献する(Perspective2 人をはぐくむ)とともに、イノベーションに関する研究成果等を通じて、東京大学におけるスタートアップエコシステムの発展に寄与する(Perspective3 場をつくる)。							

14	組織設置にあたり連携研究機構制度を活用する理由	①東京大学の公式な組織として活動を行う理由
		産学官連携のもと研究活動の充実を図るには、企業からの寄附や共同研究の形態による支援など学外の資金調達等を円滑に受けられる環境を整えておく必要があるところ、その認知度向上等を図る観点から、東京大学の公式な組織として活動を行うものである。
		②連携研究機構制度の活用が最適とした理由
		不動産に関する制度的な研究、官民が保有する各種不動産データの活用・分析研究、社会変革と不動産・まちづくりのあり方に係る研究など、本センターで取り扱う予定の研究テーマは、経済、工学、公共政策学等の一学問分野では完了せず、これらの学知を連携させて初めて可能となる分野である。このために、学内の複数部局が強く連携して研究体制を組む必要がある。 社会的な要請を踏まえた研究テーマを迅速かつ柔軟に選定し、研究活動を遂行していくためには、複数部局の発意に基づく自律的な取組を進めていくための組織体制として、連携研究機構制度の活用が最適であると考ええる。
15	既存組織(※)との関連、相違点、役割分担 ※既存の部局センター、全学センター、総長室総括委員会下の機構 等	不動産イノベーション研究センターは、産学官連携のもと、日本初の不動産政策の推進に資する研究拠点(産学官民協働拠点)として、不動産に関連する分野横断的な学術研究を推進する新たな組織である。連携部局の中で不動産研究に関連する研究者がセンターに兼担して結集し、学際的な研究を進める。
16	将来計画	研究成果を社会に還元(政府に対する政策提言等)するとともに、当該成果を踏まえた更なる研究の推進を図る。また、設置予定期間終了後も関係者の了解が得られれば、不動産イノベーションの日本におけるセンターとして発展的に改組していきたい。
17	部局教授会等承認年月日 ※連携部局全てについて記載	経済学研究科 令和6年 月 日 承認
		工学系研究科 令和6年 月 日 承認
		総合文化研究科 令和6年 月 日 承認
		情報理工学系研究科 令和6年 月 日 承認
		公共政策学連携研究部 令和6年 月 日 承認
		未来ビジョン研究センター 令和6年 月 日 承認
		空間情報科学研究センター 令和6年 月 日 承認
18	備考	

不動産イノベーション研究センター 参画教員一覧

(令和6(2024)年11月25日提出)

1. 連携研究機構の長(機構長変更時の提出にあたっては、変更後の機構長を記入)

部局名	氏名	職名	所属	他の組織等での兼務状況
経済学研究科	柳川 範之	教授	経済学研究科・経済専攻	

2. その他の参画教員(先頭に主管部局、その他の部局は官制順に記載)

部局名	氏名	職名	所属	他の組織等での兼務状況
経済学研究科	大橋 弘	教授	経済専攻	副学長
経済学研究科	尾山 大輔	教授	経済専攻	
経済学研究科	佐藤 泰裕	教授	経済専攻	
経済学研究科	林 正義	教授	経済専攻	
経済学研究科	古澤 泰治	教授	経済専攻	デジタルオブザーバトリ研究推進機構
経済学研究科	渡辺 努	教授	経済専攻	MEC-UTokyoLab
経済学研究科	相場 郁人	特任助教	経済専攻	デジタルオブザーバトリ研究推進機構

部局名	氏名	職名	所属	他の組織等での兼務状況
工学系研究科	羽藤 英二	教授	社会基盤学専攻	
工学系研究科	大月 敏雄	教授	建築学専攻	高齢社会総合研究機構副機構長
工学系研究科	前 真之	教授	建築学専攻	
工学系研究科	瀬田 史彦	准教授	都市工学専攻	
工学系研究科	樋野 公宏	准教授	都市工学専攻	
工学系研究科	中島 弘貴	特任講師	都市工学専攻	
工学系研究科	西 颯人	特任講師	都市工学専攻	
工学系研究科	坂本 慧介	助教	都市工学専攻	
工学系研究科	長谷川 大輔	特任助教	都市工学専攻	MEC-UTokyoLab
工学系研究科	和泉 潔	教授	システム創成学専攻	総長特任補佐
工学系研究科	大澤 幸生	教授	システム創成学専攻	

部局名	氏名	職名	所属	他の組織等での兼務状況
総合文化研究科	梶田 真	教授	広域科学専攻	地域未来社会連携研究機構
総合文化研究科	横山 ゆりか	教授	広域科学専攻	高齢社会総合研究機構、地域未来社会連携研究機構

部局名	氏名	職名	所属	他の組織等での兼務状況
情報理工学系研	山崎 俊彦	教授	電子情報学専攻	インクルーシブ工学連携研究機構教授、同「価値交換工学」社会連携研究部門・特任教授、デジタル空間社会連携研究機構教授、次世代知能科学研究センター教授、発達保育実践政策学センター協力研究者、情報基盤センター データ科学専門委員会委員
情報理工学系研	森 純一郎	准教授	情報理工学教育研究センター	

部局名	氏名	職名	所属	他の組織等での兼務状況
公共政策学連携	小川 光	教授		経済学研究科・経済専攻
公共政策学連携	小椋 康裕	特任教授		

部局名	氏名	職名	所属	他の組織等での兼務状況
未来ビジョン研	城山 英明	教授		公共政策学連携研究部教授、法学政治学研究科
未来ビジョン研	菊池 康紀	教授		大学院工学研究科化学システム工学専攻、モビリティ・イノベーション連携研究機構、地域未来社会連携研究機構、未来戦略LCA連携研究機構
未来ビジョン研	齋藤 直紀	特任助教		

部局名	氏名	職名	所属	他の組織等での兼務状況
空間情報科学研	貞広 幸雄	教授		情報学環・空間情報科学 MEC-UTokyoLab
空間情報科学研	高橋 孝明	教授	空間社会経済研究部門	経済学研究科・経済専攻、新領域創成科学研究科・社会文化環境学専攻、公共政策大学院
空間情報科学研	山田 育穂	教授	空間情報解析研究部門	新領域創成科学研究科・社会文化環境学専攻、MEC-UTokyoLab

【記載上の注意】

1. 以下の条件を満たしているか、確認してください。

①すべての連携部局から教員が参画している

②連携部局以外に所属する教員が記載されていない

※連携部局以外に所属する教員が個人的に連携研究機構の研究活動に協力・協働することを妨げるものではありません。

③教員以外の者が記入されていない

※教員：（特任）教授、（特任）准教授、（特任）講師、（特任）助教、助手

2. 設置申請書の鑑文に部局長名が記載されていることを以て、本一覧に記載されている教員が連携研究機構に参画することが各部局において了解されているものとみなします。

【備考】

・参画教員一覧の変更があった場合、当該変更があった年度の末日までに、参画教員一覧をご提出ください。

・「協力教員」については記載不要です。

連携研究機構「不動産イノベーション研究センター」(CREI)の設置(延長)について

背景・目的

- 少子高齢化、AI・IoTなど新技術の進展、グローバル化など、社会経済情勢等の急速な変化に伴い、不動産に対する社会ニーズも多様化。
- 不動産へのニーズの多様化に適確に対応した新たな不動産市場の形成や業態の育成・発展に資するよう、産学官の効果的な連携により不動産分野のイノベーションをリードすることが重要。

(第1期2020～2024年度、第2期 2025年度～5年間)

産学官連携による研究拠点として、「不動産イノベーション研究センター」を設置

当面の研究テーマ

I. 不動産に関する制度的研究

(研究例) 不動産権利・ガバナンスに関する研究
空き家・空き地再生・粗放管理に関する研究 等

経済学・公共政策学等の連携

II. 不動産データ活用・分析

(研究例) 都市再生に関する人流等の定量分析
住宅ストックの老朽化・管理適正化に関する研究
気候変動の影響・適応策、GXに関する研究 等

経済学・工学等の連携

III. 社会変革と不動産・まちづくりのあり方

(研究例) イノベーションに関する研究
モビリティに関する研究 等

経済学・工学・公共政策学等の連携

連携部局

経済学研究科、工学系研究科、総合文化研究科、情報理工学系研究科、公共政策学連携研究部、未来ビジョン研究センター、空間情報科学研究センター

寄附企業等・共同研究機関・協力機関

○ 寄附企業等

- ・住友不動産株式会社
- ・東急不動産株式会社
- ・東京建物株式会社
- ・野村不動産株式会社
- ・三井不動産株式会社
- ・三菱地所株式会社
- ・森ビル株式会社
- ・(一社)不動産流通経営協会

○ 協力機関

- ・国土交通省
- ・(一社)不動産協会
- ・(一財)不動産適正取引推進機構

○ 共同研究機関

- ・(一社)全国住宅産業協会
- ・(公社)全国宅地建物取引業協会連合会 不動産総合研究所
- ・(公社)全日本不動産協会 全日みらい研究所

第1期(2020～2024年度)

大都市の都市力向上方策、エリア価値増進、不動産情報の集約化と評価分析方策、新技術の導入等とこれからの不動産業等をテーマに、産学官連携により研究を推進。

- ・ワーキングペーパー 24本
- ・レポート 16本
- ・オープンセミナー 10回
- ・13研究プロジェクト支援 等

(年 月 日 承認時点) (社会連携講座等様式)
【新規】

東京大学大学院総合文化研究科「AI 相利共生未来社会講座」社会連携講座の概要

1. 設置年月日 (設置期間)	2024 年 11 月 1 日 (2024 年 11 月 1 日 ~ 2027 年 10 月 31 日 3 年間)
2. 部局名	東京大学大学院総合文化研究科
3. 社会連携講座等の名称	(和文) AI 相利共生未来社会講座 (英文) AI Symbiotic Future Society Program
4. 連携機関名	Google 合同会社
5. 連携機関の概要	(1) 設立年月日 2015 年 10 月 2 日 (2) 資本金 76,534,000,000 USD (2023 年 12 月 31 日現在) (3) 収 益 73,795,000,000 USD (2023 年 通期) (4) 従業員数 182,502 人 (2023 年 12 月 31 日現在) (5) 事業の内容 (概略) Google の使命は、世界中の情報を整理し、世界中の人々がアクセスできて使えるようにすることです。Google はこの使命に基づいて検索、マップ、Gmail などの Google サービスを提供しています。
6. 社会連携講座等経費額	総額 143,000,000 円 (2024/9 の TTB レート 143 円で計算) { うち基礎的経費 108,730,770 円 研究支援経費 32,619,230 円 研究料 1,650,000 円
7. 支払方法及び時期	2024 年 11 月 143,000,000 円 (2024/9 の TTB レート 143 円で計算)
8. 担当教員	特任准教授 (兼務) 大関 洋平 特任助教 (予定) 1 名選考中
9. 研究及び教育目的	東京大学と Google は、「AI 相利共生未来社会」(AI symbiotic future society) を実現するため、これまで第一期 (2020-2022)・第二期 (2022-2024) パートナーシップを締結しています。今回、2024 年 9 月 27 日付で締結した第三期 (2024-2027) パートナーシップの一環として、社会連携講座「AI 相利共生未来社会講座」(AI Symbiotic Future Society Program) を設置します。本社会連携講座では、東京大学と Google の AI 研究者による共同研究を実施する新しいプラットフォームを構築・運用することを目的とします。また、Google の AI 教育コンテンツを通して次世代 AI 人材を育成すると同時に、スタートアップと産学連携し AI 技術の社会実装を加速させます。
10. 研究及び教育内容・研究課題等	以下の重点領域を中心に研究・教育を進めます。具体的には、東京大学と Google の AI 研究者による共同研究を促進するシステム (UTokyo AI Catalyst) を、大規模言語モデルを活用して構築・運用します。また、数理・情報教育研究センターと連携して、Google の AI 教育コンテンツ (AI Essentials、Gemini Academy 等) を学内外に展開します。 • 自然言語処理 (natural language processing) • 医療 (health) • 教育 (education)
11. 期待される成果	東京大学と Google は、AI 技術の社会実装を加速させ、人間と AI が相利共生する「AI 相利共生未来社会」の実現を目指します。
12. 備 考	年 月 日 承認 ()

2025年度 教養学部前期課程授業等日程一覧（案）

週2コマの組み合わせ：月・木・火・金



は休祝日利用



は曜日振替日

4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 5
標準授業日程 (義) セメスター (義) ターム	AM PM	→				
	AM PM	→				
	AM PM	→				
6	7	8	9	10	11	12
標準授業日程 (義) セメスター (義) ターム	AM PM	→	①月	①火	①水	①木
	AM PM	→	①月	①火	①水	①木
	AM PM	→				入学式
13	14	15	16	17	18	19
標準授業日程 (義) セメスター (義) ターム	AM PM	→	①金	②火	②水	②木
	AM PM	→	①金	②火	②水	②木
	AM PM	→				
20	21	22	23	24	25	26
標準授業日程 (義) セメスター (義) ターム	AM PM	→	②月	③火	③水	③木
	AM PM	→	②月	③火	③水	③木
	AM PM	→				
27	28	29	30			
標準授業日程 (義) セメスター (義) ターム	AM PM	→	③月		④火	
	AM PM	→	③月		④火	
	AM PM	→				
標準授業日程 (義) セメスター (義) ターム	AM PM	→				
	AM PM	→				
	AM PM	→				

4/14 (月) 金曜授業、4/30 (水) 火曜授業

5月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				④木	④金	
				④木	④金	
4	5	6	7	8	9	10
			④水	④月	⑤金	
			④水	④月	⑤金	
11	12	13	14	15	16	17
		⑤月	⑤火	⑤水	⑤木	⑥金
		⑤月	⑤火	⑤水	⑤木	⑥金
						五月祭
18	19	20	21	22	23	24
五月祭	⑥月	⑥火	⑥水	⑥木	補講 ⑥金	五月祭
	⑥月	⑥火	⑥水	⑥木	補講 ⑥金	
25	26	27	28	29	30	31
	⑦月	⑦火	⑦水	⑦木	⑦金	
	⑦月	⑦火	⑦水	⑦木	⑦金	

5/8 (木) 月曜授業

6月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
			⑧水	⑧木	⑧金	
	試験	試験	①水	①木	①金	予備日
8	9	10	11	12	13	14
	⑧月	⑧火	⑨水	⑨木	⑨金	
	①月	①火	②水	②木	②金	
15	16	17	18	19	20	21
	⑨月	⑨火	⑩水	⑩木	⑩金	
	②月	②火	③水	③木	③金	
22	23	24	25	26	27	28
	⑩月	⑩火	⑪水	⑪木	⑪金	
	③月	③火	④水	④木	④金	
29	30					
	⑪月					
	④月					

6/7 (土) 定期試験予備日

7月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		⑪火	⑫水	⑫木	⑫金	
		④火	⑤水	⑤木	⑤金	
6	7	8	9	10	11	12
	⑫月	⑫火	⑬水	⑬木	⑬金	
	⑤月	⑤火	⑥水	⑥木	⑥金	
13	14	15	16	17	18	19
	⑬月	⑬火	補講	試験	試験	
	⑥月	⑥火	補講	⑦木	⑦金	
20	21	22	23	24	25	26
		試験	試験	試験	補講	
		⑦火	⑦水	⑦月	補講	
27	28	29	30	31		
	試験	試験	試験	試験		
	試験	試験	試験	試験		

7/24 (木) 月曜授業及びSセメスター試験

8月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					予備日	
					予備日	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8/1 (金) 定期試験予備日

9月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27

ガイダンス

ガイダンス

10月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
標準授業日程 (義) セメスター (義) ターム	AM PM	→			①木	①金
	AM PM	→			①木	①金
	AM PM	→				
5	6	7	8	9	10	11
標準授業日程 (義) セメスター (義) ターム	AM PM	→	①月	①火	①水	②木
	AM PM	→	①月	①火	①水	②木
	AM PM	→				
12	13	14	15	16	17	18
標準授業日程 (義) セメスター (義) ターム	AM PM	→	②月	②火	②水	③木
	AM PM	→	②月	②火	②水	③木
	AM PM	→				
19	20	21	22	23	24	25
標準授業日程 (義) セメスター (義) ターム	AM PM	→	③月	③火	③水	④木
	AM PM	→	③月	③火	③水	④木
	AM PM	→				
26	27	28	29	30	31	
標準授業日程 (義) セメスター (義) ターム	AM PM	→	④月	④火	④水	⑤木
	AM PM	→	④月	④火	④水	⑤木
	AM PM	→				
標準授業日程 (義) セメスター (義) ターム	AM PM	→				
	AM PM	→				
	AM PM	→				

10/13 (月) 祝日授業日

11月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
		⑤火	⑤水	⑤月	⑥金	
		⑤火	⑤水	⑤月	⑥金	
9	10	11	12	13	14	15
	⑥月	⑥火	⑥水	⑥木	⑦金	
	⑥月	⑥火	⑥水	⑥木	⑦金	
16	17	18	19	20	21	22
		⑦月	⑦火	⑦水	⑦木	
		⑦月	⑦火	⑦水	⑦木	
23	24	25	26	27	28	29
30						

11/6 (木) 月曜授業

11/29 (土) 定期試験予備日

12月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	⑧月	⑧火	⑧水	⑧木	⑨金	
	①月	①火	①水	①木	②金	
7	8	9	10	11	12	13
	⑨月	⑨火	⑨水	⑨木	⑩金	
	②月	②火	②水	②木	③金	
14	15	16	17	18	19	20
	⑩月	⑩火	⑩水	⑩木	⑪金	
	③月	③火	③水	③木	④金	
21	22	23	24	25	26	27
	⑪月	⑪火	⑪水	⑪木	⑫金	
	④月	④火	④水	④木	⑤金	
28	29	30	31			

1月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
	⑫月	⑫火	⑫水	⑫木	⑬金	
	⑤月	⑤火	⑤水	⑤木	⑥金	
11	12	13	14	15	16	17
	⑬火	⑬水	⑬木	大学 入学 共通 テスト	大学 入学 共通 テスト	
	⑥火	⑥水	⑥木			
18	19	20	21	22	23	24
	⑬月	補講	補講	試験	試験	
	⑥月	補講	補講	⑦木	⑦金	
25	26	27	28	29	30	31
	試験	試験	試験	補講	試験	
	⑦月	⑦火	⑦水	補講	試験	

2/7 (土)定期試験予備日

2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	試験	試験				予備日
	試験	試験	持ち出し試験			予備日
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

2/7 (土)定期試験予備日

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7

2025年度 教養学部前期課程 授業等日程

◆ 4月～8月 授業等日程

●授業期間	4月7日(月) ～ 7月31日(木)
●授業休止日	5月16日(金) 午後：五月祭準備のため
●祝休日等利用日	6月7日(土) 全日：S1ターム定期試験予備日
●その他	4月11日(金) 全日：東京大学春季入学式

〔セメスター科目〕

◎授業日（Sセメスター）※6/2、6/3はセメスター科目の授業はなし

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
月曜日	AM	4/7	4/21	4/28	5/8	5/12	5/19	5/26	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14
	PM													
火曜日	AM	4/8	4/15	4/22	4/30	5/13	5/20	5/27	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8	7/15
	PM													
水曜日	AM	4/9	4/16	4/23	5/7	5/14	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9
	PM													
木曜日	AM	4/10	4/17	4/24	5/1	5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10
	PM													
金曜日	AM	4/14	4/18	4/25	5/2	5/9	5/16	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4	7/11
	PM						5/23							

○振替授業日 4月14日(月) は、月曜日の授業は行わずに金曜日の授業を行う。
4月30日(水) は、水曜日の授業は行わずに火曜日の授業を行う。
5月8日(木) は、木曜日の授業は行わずに月曜日の授業を行う。

○補講日	5月23日(金) 午前	7月16日(水) 全日	7月25日(金) 全日
○定期試験	7月17日(木) ～ 7月31日(木)	※土・日を除く。8月1日(金) は予備日。	
	注1：7月24日(木) は、木曜日の授業の試験は行わずに月曜日の授業の試験を行う。		
	注2：7月25日(金) は補講日により試験は行わない。		

〔ターム科目〕

◎授業日（S1ターム）

週1コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回						
月曜日	AM	4/7	4/21	4/28	5/8	5/12	5/19	5/26						
	PM													
火曜日	AM	4/8	4/15	4/22	4/30	5/13	5/20	5/27						
	PM													
水曜日	AM	4/9	4/16	4/23	5/7	5/14	5/21	5/28						
	PM													
木曜日	AM	4/10	4/17	4/24	5/1	5/15	5/22	5/29						
	PM													
金曜日	AM	4/14	4/18	4/25	5/2	5/9	5/16	5/30						
	PM						5/23							
週2コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
月・木曜日	AM	4/7	4/10	4/17	4/21	4/24	4/28	5/1	5/8	5/12	5/15	5/19	5/22	5/26
	PM													
火・金曜日	AM	4/8	4/14	4/15	4/18	4/22	4/25	4/30	5/2	5/9	5/13	5/16	5/20	5/27
	PM											5/20	5/23	

○振替授業日 4月14日(月) は、月曜日の授業は行わずに金曜日の授業を行う。
4月30日(水) は、水曜日の授業は行わずに火曜日の授業を行う。
5月8日(木) は、木曜日の授業は行わずに月曜日の授業を行う。

○補講日	5月23日(金) 午前		
○定期試験	6月2日(月) ～ 6月3日(火)	※6月7日(土) は予備日。	

◎授業日（S2ターム）

週1コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回						
月曜日	AM	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14	7/24						
	PM													
火曜日	AM	6/10	6/17	6/24	7/1	7/8	7/15	7/22						
	PM													
水曜日	AM	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9	7/23						
	PM													
木曜日	AM	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/17						
	PM													
金曜日	AM	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4	7/11	7/18						
	PM													
週2コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
月・木曜日	AM	6/5	6/9	6/12	6/16	6/19	6/23	6/26	6/30	7/3	7/7	7/10	7/14	7/17
	PM													
火・金曜日	AM	6/6	6/10	6/13	6/17	6/20	6/24	6/27	7/1	7/4	7/8	7/11	7/15	7/18
	PM													

○振替授業日 7月24日(木) は、木曜日の授業は行わずに月曜日の授業を行う。

○補講日	7月16日(水) 全日	7月25日(金) 全日
○定期試験	7月28日(月) ～ 7月31日(木)	※8月1日(金) は予備日。

授業時間(90分)				授業時間(105分)				定期試験時間(90分)			
1時限	8時30分	～	10時00分	1時限	8時30分	～	10時15分	1時限	8時40分	～	10時10分
2時限	10時25分	～	11時55分	2時限	10時25分	～	12時10分	2時限	10時35分	～	12時05分
3時限	13時15分	～	14時45分	3時限	13時00分	～	14時45分	3時限	13時25分	～	14時55分
4時限	15時10分	～	16時40分	4時限	14時55分	～	16時40分	4時限	15時20分	～	16時50分
5時限	17時05分	～	18時35分	5時限	16時50分	～	18時35分	5時限	17時15分	～	18時45分
6時限	19時00分	～	20時30分	6時限	18時45分	～	20時30分	6時限	19時10分	～	20時40分

2025年度 教養学部前期課程 授業等日程

◆ 1 0 月～ 2 月 授業等日程

●授業期間	10月2日(木) ～ 2月10日(火)
●授業休止日	11月21日(金) 前日：駒場祭準備のため 11月25日(火) 午前：駒場祭片付けのため 1月16日(金) 全日：大学入学共通テスト準備のため
●祝休日等利用日	10月13日(月) 11月29日(土) 全日：A1ターム定期試験予備日 2月7日(土) 全日：Aセメスター/A2ターム定期試験予備日

〔セメスター科目〕

◎授業日（Aセメスター）※11/27はセメスター科目の授業はなし

		第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回	第 1 0 回	第 1 1 回	第 1 2 回	第 1 3 回
月曜日	AM	10/6	10/13	10/20	10/27	11/6	11/10	11/17	12/1	12/8	12/15	12/22	1/5	1/19
	PM													
火曜日	AM	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/11	11/18	12/2	12/9	12/16	12/23	1/6	1/13
	PM													
水曜日	AM	10/8	10/15	10/22	10/29	11/5	11/12	11/19	12/3	12/10	12/17	12/24	1/7	1/14
	PM													
木曜日	AM	10/2	10/9	10/16	10/23	10/30	11/13	11/20	12/4	12/11	12/18	12/25	1/8	1/15
	PM													
金曜日	AM	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/7	11/14	11/28	12/5	12/12	12/19	12/26	1/9
	PM													

○振替授業日	11月6日(木) は、木曜日の授業は行わずに月曜日の授業を行う。
○補講日	11月25日(火) 午後 11月26日(水) 全日 1月20日(火) 全日 1月21日(水) 全日 1月29日(木) 全日
○定期試験	1月22日(木) ～ 2月3日(火) ※土・日を除く。2月7日(土) は予備日。 注：1月29日(木) は補講日により試験は行わない。
○専門科目試験	2月4日(水) ～ 2月10日(火) ※土・日を除く。

〔ターム科目〕

◎授業日（A 1ターム）

週1コマ		第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回						
月曜日	AM	10/6	10/13	10/20	10/27	11/6	11/10	11/17						
	PM													
火曜日	AM	10/7	10/14	10/21	10/28	11/4	11/11	11/18						
	PM													
水曜日	AM	10/8	10/15	10/22	10/29	11/5	11/12	11/19						
	PM													
木曜日	AM	10/2	10/9	10/16	10/23	10/30	11/13	11/20						
	PM													
金曜日	AM	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/7	11/14						
	PM													
週2コマ		第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回	第 1 0 回	第 1 1 回	第 1 2 回	第 1 3 回
月・木曜日	AM	10/2	10/6	10/9	10/13	10/16	10/20	10/23	10/27	10/30	11/6	11/10	11/13	11/17
	PM													
火・金曜日	AM	10/3	10/7	10/10	10/14	10/17	10/21	10/24	10/28	10/31	11/4	11/7	11/11	11/14
	PM													

○振替授業日	11月6日(木) は、木曜日の授業は行わずに月曜日の授業を行う。
○補講日	11月25日(火) 午後 11月26日(水) 全日
○定期試験	11月27日(木) ※11月29日(土) は予備日。

◎授業日（A 2ターム）

週1コマ		第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回						
月曜日	AM	12/1	12/8	12/15	12/22	1/5	1/19	1/26						
	PM													
火曜日	AM	12/2	12/9	12/16	12/23	1/6	1/13	1/27						
	PM													
水曜日	AM	12/3	12/10	12/17	12/24	1/7	1/14	1/28						
	PM													
木曜日	AM	12/4	12/11	12/18	12/25	1/8	1/15	1/22						
	PM													
金曜日	AM	11/28	12/5	12/12	12/19	12/26	1/9	1/23						
	PM													
週2コマ		第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回	第 1 0 回	第 1 1 回	第 1 2 回	第 1 3 回
月・木曜日	AM	12/1	12/4	12/8	12/11	12/15	12/18	12/22	12/25	1/5	1/8	1/15	1/19	1/22
	PM													
火・金曜日	AM	11/28	12/2	12/5	12/9	12/12	12/16	12/19	12/23	12/26	1/6	1/9	1/13	1/23
	PM													

○振替授業日	なし
○補講日	1月20日(火) 全日 1月21日(水) 全日 1月29日(木) 全日
○定期試験	1月30日(金) ～ 2月3日(火) ※土・日を除く。2月7日(土) は予備日。

授業時間(90分)				授業時間(105分)				定期試験時間(90分)			
1時限	8時30分	～	10時00分	1時限	8時30分	～	10時15分	1時限	8時40分	～	10時10分
2時限	10時25分	～	11時55分	2時限	10時25分	～	12時10分	2時限	10時35分	～	12時05分
3時限	13時15分	～	14時45分	3時限	13時00分	～	14時45分	3時限	13時25分	～	14時55分
4時限	15時10分	～	16時40分	4時限	14時55分	～	16時40分	4時限	15時20分	～	16時50分
5時限	17時05分	～	18時35分	5時限	16時50分	～	18時35分	5時限	17時15分	～	18時45分
6時限	19時00分	～	20時30分	6時限	18時45分	～	20時30分	6時限	19時10分	～	20時40分

東京大学総合文化研究科自然科学図書室規則の一部を改正する規則（案）

改正理由：駒場図書館、大学院総合文化研究科図書館関係の規則に合わせ、図書室利用に係る内容を「東京大学大学院総合文化研究科自然科学図書室利用規則」に移行、整理するなど、所要の改正を行うものである。

現 行	改 正
(略) (目的) 第1条 この規則は、東京大学大学院総合文化研究科組織規則第13条第<u>1</u>項の規定に基づき、東京大学大学院総合文化研究科自然科学図書室（以下「自然科学図書室」という。）の組織、<u>運営及び利用</u>に関し、必要な事項を定めることを目的とする。 (略) (組織) 第3条 自然科学図書室の運営に関する重要事項を審議するため、自然科学図書室運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。 <u>2 運営委員長</u>の選出<u>及び運営委員会</u>の組織及び運営については、別に定める。 <u>3 運営委員長</u>は、自然科学図書室の管理及び運営を総括する。 (図書室資料) 第4条 自然科学図書室に、第2条に定める任務を達成するため、<u>図書、雑誌、視聴覚資料</u>その他必要な図書室資料を備える。	(略) (目的) 第1条 この規則は、東京大学大学院総合文化研究科組織規則第13条第<u>2</u>項の規定に基づき、東京大学大学院総合文化研究科自然科学図書室（以下「自然科学図書室」という。）の組織<u>及び運営</u>に関し、必要な事項を定めることを目的とする。 (略) (運営委員会) 第3条 自然科学図書室の運営に関する重要事項を審議するため、<u>東京大学大学院総合文化研究科自然科学図書室運営委員会</u>（以下「運営委員会」という。）を置く。 <u>2 運営委員会</u>は、<u>委員長及び委員</u>をもって組織する。 <u>3 委員長</u>の選出<u>並びに運営委員会</u>の組織及び運営については、別に定める。 <u>4 委員長</u>は、自然科学図書室の管理及び運営を総括する。 第4条 削除

現 行	改 正
(施設) 第<u>5</u>条 自然科学図書室に次の施設及び設備を置く。 (略) (利用) 第<u>6</u>条 自然科学図書室は、<u>次の閉室日を除き、開室するものとする。</u> <u>(1)「国民の祝日に関する法律」に規定する休日</u> <u>(2) 年末年始</u> <u>(3) 土曜日、日曜日</u> <u>(4) 運営委員会が必要と認めた日</u> 第<u>7</u>条 自然科学図書室の利用者は、次に掲げるものとする。 (1) <u>東京大学（以下本学という）の教職員、学生、<u>院生</u>、研究生、<u>聴講生</u>、<u>研究員</u>及び名誉教授</u> (2) 広域科学専攻の研究室にて、研究・事務の補助を行うことが<u>広域科学専攻</u>で認められた者 (3) 本学の元教職員 (4) 本学の卒業生及び修了者 (5) 他大学の教職員及び学生 (6) 図書室資料の利用を申し出た学外者 <u>(開室時間)</u> 第<u>8</u>条 <u>自然科学図書室の開室時間は、9時15分から17時15分までとする。</u> <u>2 運営委員会は、特に必要と認めたときは、前項の開館時間を変更</u>	(施設) 第<u>4</u>条 自然科学図書室に次の施設及び設備を置く。 (略) (利用) 第<u>5</u>条 自然科学図書室の<u>開室日、利用方法等</u>については、別に<u>利用規則</u>で定める。 第<u>6</u>条 自然科学図書室の利用者は、次に掲げるものとする。 (1) 本学の教職員、学生、研究生、聴講生及び名誉教授 (2) 広域科学専攻の研究室にて、研究・事務の補助を行うことが<u>同</u>専攻で認められた者 (3) 本学の元教職員 (4) 本学の卒業生及び修了者 (5) 他大学の教職員及び学生 (6) <u>前各号に掲げた者のほか</u>図書室資料の利用を申し出た学外者 第<u>8</u>条 削除

現 行	改 正
<u>(複写・撮影)</u> <u>第 1 1 条 自然科学図書室の図書室資料の複写又は撮影を希望する者は所定の手続により申し込まなければならない。</u> <u>(参考調査)</u> <u>第 1 2 条 利用者は、研究、教育又は学習上必要があるときは、参考となる情報の提供又は関係図書室資料の調査について、自然科学図書室に依頼することができる。</u> <u>(相互利用)</u> <u>第 1 3 条 利用者は、研究、教育又は学習上必要があるときは、自然科学図書室以外の図書館等が所蔵する図書館資料の利用を自然科学図書室に依頼することができる。</u> <u>2 前項の利用に要する経費は、依頼者が負担しなければならない。</u> <u>第 1 4 条 自然科学図書室は、自然科学図書室以外の図書館等から、自然科学図書室の図書館資料の貸出又は複写の申込みがあつた場合は、自然科学図書室の利用に支障のない限りこれに応じるものとする。</u> <u>(利用停止)</u> <u>第 1 5 条 運営委員会は、この規則に違反し、又は自然科学図書室職員の指示に従わない者に対して、自然科学図書室の利用を停止し、又は退室を命ずることができる。</u>	<u>第 1 1 条 削除</u> <u>第 1 2 条 削除</u> <u>第 1 3 条 削除</u> <u>第 1 4 条 削除</u> <u>(利用停止) 削除</u> <u>第 7 条 自然科学図書室の利用者は、利用規則に従わなければならない。</u> <u>2 運営委員会は、前項の規則に違反し、又は自然科学図書室職員の指示に従わない者に対して、自然科学図書室の利用を停止し、又は退室を命ずることができる。</u>

現 行	改 正
<u>(賠償責任)</u> 第16条 利用者は、利用中の自然科学図書室の図書室資料又は設備・備品等を故意又は重大な過失により亡失し、又は損傷した場合は、その損害を賠償しなければならない。 (雑則) 第17条 図書室資料を利用者の閲覧に供するため、図書館資料の目録及びこの規則を常時閲覧室内に備え付けるものとする。 第18条 この規則に定めるもののほか、この規則の実施に関し必要な事項は、<u>運営委員会</u>が別に<u>利用規則</u>で定める。	第16条 削除 (補則) 第17条 削除 第8条 この規則に定めるもののほか、この規則の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、令和 年 月 日から施行する。

東京大学大学院総合文化研究科自然科学図書室規則（案）

東京大学大学院総合文化研究科・
教養学部教授会

制定 平成16年3月18日

改正 令和6年 月 日

（目的）

第1条 この規則は、東京大学大学院総合文化研究科組織規則第13条第2項の規定に基づき、東京大学大学院総合文化研究科自然科学図書室（以下「自然科学図書室」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

（任務）

第2条 自然科学図書室は、東京大学大学院総合文化研究科（以下「総合文化研究科」という。）における研究及び教育に資するため、図書その他の資料（以下「図書室資料」という。）を収集し、その有効な利用を図るとともに、これに必要な施設及び設備を維持し、運営することを任務とする。

（運営委員会）

第3条 自然科学図書室の運営に関する重要事項を審議するため、東京大学大学院総合文化研究科自然科学図書室運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

- 2 運営委員会は、委員長及び委員をもって組織する。
- 3 委員長の選出並びに運営委員会の組織及び運営については、別に定める。
- 4 委員長は、自然科学図書室の管理及び運営を総括する。

（施設）

第4条 自然科学図書室に次の施設及び設備を置く。

- (1) 閲覧室
- (2) 書庫
- (3) 複写設備
- (4) 前各号に掲げたもののほか、自然科学図書室の任務を達成するために必要な施設及び設備

- 2 前項の施設又は設備の運用については、別に定める。

（利用）

第5条 自然科学図書室の開室日、利用方法等については、別に利用規則で定める。

第6条 自然科学図書室の利用者は、次に掲げるものとする。

- (1) 本学の教職員、学生、研究生、聴講生及び名誉教授
- (2) 広域科学専攻の研究室にて、研究・事務の補助を行うことが同専攻で認められた者
- (3) 本学の元教職員
- (4) 本学の卒業生及び修了者
- (5) 他大学の教職員及び学生
- (6) 前各号に掲げたもののほか図書室資料の利用を申し出た学外者

第7条 自然科学図書室の利用者は、利用規則に従わなければならない。

- 2 運営委員会は、前項の規則に違反し、又は自然科学図書室職員の指示に従わない者に対して、自然科学図書室の利用を停止し、又は退室を命ずることができる。

(補則)

第8条 この規則に定めるもののほか、この規則の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和6年 月 日から施行する。

東京大学大学院総合文化研究科自然科学図書室利用規則（案）

東京大学大学院総合文化研究科
自然科学図書室運営委員会
制定 平成16年3月18日
改正 令和6年 月 日

（目的）

第1条 この規則は、東京大学総合文化研究科自然科学図書室規則（以下「図書室規則」という。）第5条の規定に基づき、東京大学大学院総合文化研究科自然科学図書室（以下「自然科学図書室」という。）の利用について、同規則に定めるもののほか、必要な事項を定めることを目的とする。

（開室日）

第2条 自然科学図書室は、次の閉室日を除き、開室するものとする。

- (1) 「国民の祝日に関する法律」に規定する休日
- (2) 年末年始
- (3) 土曜日、日曜日
- (4) 東京大学大学院総合文化研究科自然科学図書室運営委員会（以下「運営委員会」という。）が必要と認めた日

（開室時間）

第3条 自然科学図書室の開室時間は、10時から17時までとする。

2 運営委員会は、特に必要と認めたときは、前項の開館時間を変更することができる。

（室内閲覧）

第4条 利用者は、自然科学図書室に備えられた図書その他の資料（以下「図書室資料」という。）を室内で閲覧することができる。ただし、貴重図書については、本室職員の出納により、所定の場所において閲覧しなければならない。

2 図書室規則第6条第1号に定める利用者のうち広域科学専攻に所属する者、学際科学科、統合自然科学科に在籍する学生及び同規則第6条第2号に定める利用者は、開室時間外であっても、図書室資料を室内で閲覧することができる。

3 前項の運用の詳細については、別途定める。

（図書室資料の利用の制限）

第5条 次の各号に定める場合には、資料の利用を制限することができる。

- (1) 独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律（平成13年法律第140号）第

5条第1号及び第2号に掲げる情報（個人の情報に関わる部分等）が記録されていると認められる図書室資料における、当該情報が記録されている部分。

- (2) 図書室資料の全部又は一部を一定の期間公にしないことを条件に、公文書等の管理に関する法律（平成21年法律第66号）第2条第7項第4号に規定する法人その他の団体又は個人から寄贈され、又は寄託されたものであって、当該期間が経過していないもの
- (3) 図書室資料の原本を利用させることにより当該原本の破損もしくはその汚損を生じるおそれのある場合。
- (4) 試験期間中、及び、修士論文・博士論文等の提出期日直前において閲覧室等が非常に混雑している場合等、本学の学習、教育、研究に支障をきたすおそれのある場合。

（室外貸出）

第6条 運営委員会は、次の各号に掲げる利用者に、図書室資料の室外貸出を許可することができる。

- (1) 図書室規則第6条第1号及び第2号に定める利用者
- (2) 運営委員会の許可を得た者
- (3) 東京大学駒場図書館長の許可による利用証の発行を受けた者

2 次の各号に定める資料は、室外貸出を行わない。

- (1) 学術雑誌
- (2) 貴重図書
- (3) その他特に指定した図書室資料

3 図書室資料の室外貸出は5冊を上限とし、2週間までとする。

4 前項により借り受けた図書室資料は、貸出期間内に予約のない場合に限りその期間を更新することができる。ただし、更新回数は3回までとする。

5 第1項に定める利用者は第2項第1号に定める学術雑誌のうち、製本されたもの、あるいは、受入後30日経過した未製本雑誌に限り、5冊を上限とし、翌開室日まで室外貸出を受けることができる。

第7条 運営委員会は、特に必要と認めたときは、利用者に対して貸出中の図書室資料の返却を求めることができる。

（転貸禁止）

第8条 利用者は、室外貸出を受けた図書室資料を他の人に転貸してはならない。

（複写・撮影）

第9条 図書室資料の複写又は撮影を希望する者は所定の手続により申し込まなければならない。

(参考調査)

第10条 第6条第1号及び第2号に定める利用者は、研究、教育又は学習上必要があるときは、参考となる情報の提供又は関係図書室資料の調査について、自然科学図書室に依頼することができる。

(相互利用)

第11条 自然科学図書室をホームライブラリーとする利用者は、研究、教育又は学習上必要があるときは、自然科学図書室以外の図書館等が所蔵する資料の利用について、自然科学図書室に依頼することができる。

2 前項の利用に要する経費は、依頼者が負担しなければならない。

第12条 自然科学図書室は、他の図書館等から、図書室資料の貸出又は複写の申込があった場合は、自然科学図書室の利用に支障のない限りこれに応じるものとする。

(利用停止)

第13条 運営委員会は、図書室規則第7条第2項に定めるもののほか、次の行為をした者に対して、図書室資料及び施設の利用を停止することができる。

- (1) 図書室資料を切り抜くなど、故意に損傷を与えた者
- (2) 図書室資料を無断で持ち出した者
- (3) 他の利用者に対して著しい妨害行為をした者
- (4) 利用資格のない者を故意に入室させた者
- (5) 閲覧室及び書庫内において飲食をした者
- (6) その他、自然科学図書室の利用者としてふさわしくない行為をした者

(賠償責任)

第14条 利用者は、図書室資料又は設備・備品等を故意又は重大な過失により亡失し、又は損傷した場合は、その損害を賠償しなければならない。

(個人情報の漏えい防止のための措置)

第15条 運営委員長は、自然科学図書室の図書室資料のうち公文書等の管理に関する法律第2条第5項第3号に該当するものであって、独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律第5条第1号及び第2号に掲げる情報が記録されていると認められる図書室資料を所蔵する場合は、当該図書室資料について、東京大学の個人情報等に関する取扱規則（東大規則第333号）に準じ、必要な措置を講じる。

(雑則)

第16条 図書室資料を利用者の閲覧に供するため、図書室資料の目録及びこの規則を常時閲覧室内に備え付けるものとする。

(補則)

第 17 条 この規則に定めるもののほか、この規則の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、令和 6 年 月 日から施行する。

次期研究科長予定者の選挙日程

次期研究科長の任期：

2025年4月1日～2027年3月31日

選挙：

2024年11月21日 教授会

発令：

2025年4月1日

2024 年度における総合文化研究科長の選挙について

2024 年 10 月 17 日
研究科長候補者推薦委員会

本年度に実施する次期総合文化研究科長の選考にあたり、東京大学大学院総合文化研究科長選考内規(平成 17 年 11 月 18 日制定。以下「選考内規」という。)第8条第1項及び第3項並びに第9条第1項による手続の結果、最終候補者は2名となった。

東京大学大学院総合文化研究科長選考内規

制定 平成17年11月18日

(趣旨)

第1条 この内規は、東京大学大学院総合文化研究科組織規則第6条第4項の規定に基づき、大学院総合文化研究科長（以下「研究科長」という。）の選考に関し必要な事項について定める。

(選考方法)

第2条 研究科長の選考は、東京大学大学院総合文化研究科組織規則第4条及び東京大学教養学部組織規則第4条に定める教授会（以下「教授会」という。）において、選挙によって行う。

(選挙の時期及び予告)

第3条 研究科長の任期満了に伴う後任研究科長の選挙は、任期が満了する4月前までに行わなければならない。

2 研究科長に欠員が生じることとなったとき又は欠員が生じたときは、速やかに後任研究科長の選挙を行わなければならない。

3 研究科長は、少なくとも選挙の1月前までに、選挙権者にその期日を予告しなければならない。

(定足数)

第4条 後任研究科長の選挙を行う教授会は、開催日現在における東京大学大学院総合文化研究科教授会・教養学部教授会内規（以下「教授会内規」という。）第6条第2項各号に定める者を除く教授会構成員の3分の2以上の者の出席を必要とする。

(被選挙権者)

第5条 研究科長の被選挙権者は、次の各号に掲げる者とする。

(1) 教授会内規第2条に定める教授会構成員（以下「教授会構成員」という。）のうち専任教授

(2) かつて教授会構成員の専任教授であった者のうち、後任研究科長の任期の初日において教授会構成員の専任教授であることが見込まれる者

(選挙権者)

第6条 研究科長の選挙権者は、教授会構成員に限るものとする。

(研究科長候補者推薦委員会)

第7条 教授会に、研究科長候補者の推薦等に関わる業務を行うために、研究科長候補者推薦委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(第1次候補者の推薦)

第8条 教授会構成員は、5人以上10人以内の連署をもって、第5条に定める被選挙権者

- 1 人を、研究科長の第1次候補者として推薦できる。ただし、教授会構成員は、複数の候補者の推薦人となることはできない。
- 2 前項の推薦は、研究科長候補者推薦委員会委員長宛に次の各号に掲げる書類を添付のうえ、文書で行うものとする。
- (1) 候補者の経歴
 - (2) 推薦理由
 - (3) 推薦者名簿
- 3 委員会は、第1項による第1次候補者以外の者若干名を第1次候補者として推薦することができる。ただし、第1項による第1次候補者が5人に満たない場合にあっては、少なくとも5人に達する数まで第1次候補者を推薦するよう努力するものとする。
- 4 委員会は、選挙予定日の約2月前までに第1項に規定する第1次候補者の推薦募集を終えるものとする。ただし、研究科長が欠員となった場合は、この限りでない。

(最終候補者の確定、告示)

- 第9条 委員会は、前条第1項及び第3項により推薦されたすべての第1次候補者の意向を確認したうえ、最終候補者を確定する。この場合において、最終候補者が辞退等により5人に満たないこととなる場合は、再度前条第3項本文による推薦ができるものとする。
- 2 委員会は、第3条第3項に定める予告後速やかに、最終候補者の告示を行う。
- 3 前項の告示には、最終候補者に関する前条第2項に定める書類及び最終候補者の所信を記載するものとする。

(研究科長の選挙)

- 第10条 研究科長の選挙は、前条により委員会から告示された最終候補者の中から教授会において、出席者全員の無記名による単記式投票を行い、投票総数の過半数を得た者を研究科長予定者とする。
- 2 前項の第1回投票において、投票総数の過半数を得た者がいないときは、引き続き、前項により第2回投票を行う。
- 3 前項の第2回投票において、なお、投票総数の過半数を得た者がいないときは、第2回投票における上位得票者2人（上位2位までの票を得た者が2人を超える場合においては、その全員）について、引き続き第1項による第3回投票を行い、第1項にかかわらず、その得票上位の者を研究科長予定者とする。
- 4 前項の第3回投票において、なお、得票数が同数の場合、くじにより研究科長予定者を定める。

附 則

- 1 この内規は、平成17年11月18日から施行する。
- 2 この内規施行の日において、従前の規定により選出された研究科長の任期は、なお、従前の例による。
- 3 東京大学大学院総合文化研究科長・教養学部長選考内規（平成8年4月1日制定）は、

廃止する。

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成26年9月18日から施行する。

2 改正後の第8条第4項の規定は、この規則の施行後最初に研究科長の任期が満了する場合において、同項中「選挙予定日の約2月前」とあるのは、「研究科長の任期が満了する6月前」と読み替えるものとする。

附 則

この内規は、令和2年7月16日から施行する。

附 則

この内規は、令和4年7月21日から施行する。